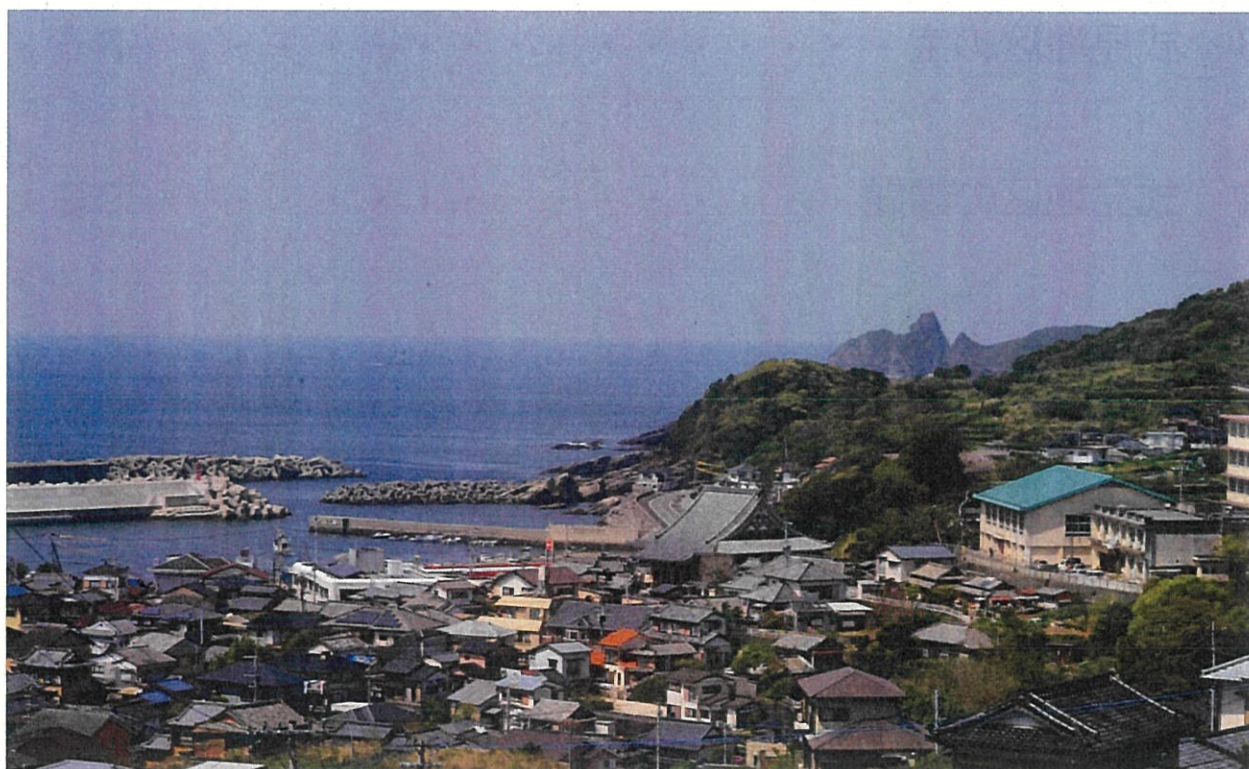


式見地区まちづくり計画書



平成29年4月

わがまちみらい工房in式見に
参画したメンバー

～ 目次 ～

はじめに…

- 1 式見地区の概要 P 3
- 2 式見地区の現状 P 4
- 3 式見地区の宝 P 5
- 4 式見地区の課題 P 6
- 5 目指すべき将来像 P 7
- 6 式見地区のまちづくり基本理念 P 9
- 7 式見地区の事業の提案 P10
- 8 これまでの経緯 P20
- 9 計画を実行していくために P23
- 10 参加者の意見 P24
- 11 この計画書策定に参画された団体 P25

はじめに…

人口減少や少子化・高齢化の流れが避けられない中、式見地区でも高齢化率が40%を超えました。式見のこれからの将来、様々な課題に対してどう解決していくのかを皆で考え、方向性を合わせていくために、「まちづくり計画」を策定しました。

このまちづくり計画は、住民の意見を反映し、必要に応じて見直しを行っていきます。

1 式見地区の概要

(1) 地理

式見地区は長崎市の西部にあり、東は岩屋山、北は矢筈岳などの山林に囲まれ、西は角力灘に面しています。平坦地は、式見川沿いに見られるのみで、地区の大部分は山林となっています。式見漁港をとり囲むように市街地が形成され、昭和37（1962）年1月1日に旧西彼杵郡式見村から長崎市に編入されました。現在、園田町、向町、牧野町、式見町、四杖町、相川町、見崎町の7つの町で構成されています。

(2) 歴史

戦国時代末期、毛利輝元の家臣が櫛（しきみ）村に来住し、櫛地頭となり、名も櫛越前守と改め、三根城（現式見小学校）を築いています。その後、櫛越前一族は滅亡し、櫛村は大村純忠の直轄地となりましたが、朝鮮の役の軍功により隣村の福田兼重が地頭として三根城に入り、櫛を式見と改名して、式見六之充兼重と名乗り、江戸時代にはその子孫が代々式見を治めました。

(3) 地名の起源

鎌倉時代から「櫛(しきみ)」の字を用い、一時期、「志幾見」の字を用いた文献もありますが、1596年に「式見」の字に改められ、現在に至っています。地名は、樹木の櫛が自生しているところという意味や、シキ(砂礫地)ミ(水、海)が転訛したものといわれています。

(4) 式見地区の今

海や山などの豊かな自然に恵まれ、夏のペーロン大会や秋の式見くんちなど、地域住民の協力により、多彩な素晴らしい伝統行事が育まれているまちです。

昭和54年にながさき式見ハイツ(現 長崎あぐりの丘高原ホテル)が開館し、平成10年に長崎市いこいの里(あぐりの丘)がオープンしました。

2 式見地区の現状

式見地区は、現在1,476世帯3,123人の方が住んでいます。(参照:平成28年末住民基本台帳に基づく町別5歳別人口)

高齢化率は平成27年度に40%を超え、平成28年度には41.8%と上昇しています。

人口推移は平成12年と平成22年の国勢調査結果を比較すると800人減少し、そのうち15歳未満の子どもは300人近く、15歳から64歳までの稼働年齢層は500人近く減少しています。この少子化・高齢化の傾向は今後も変わらないものと予測されています。

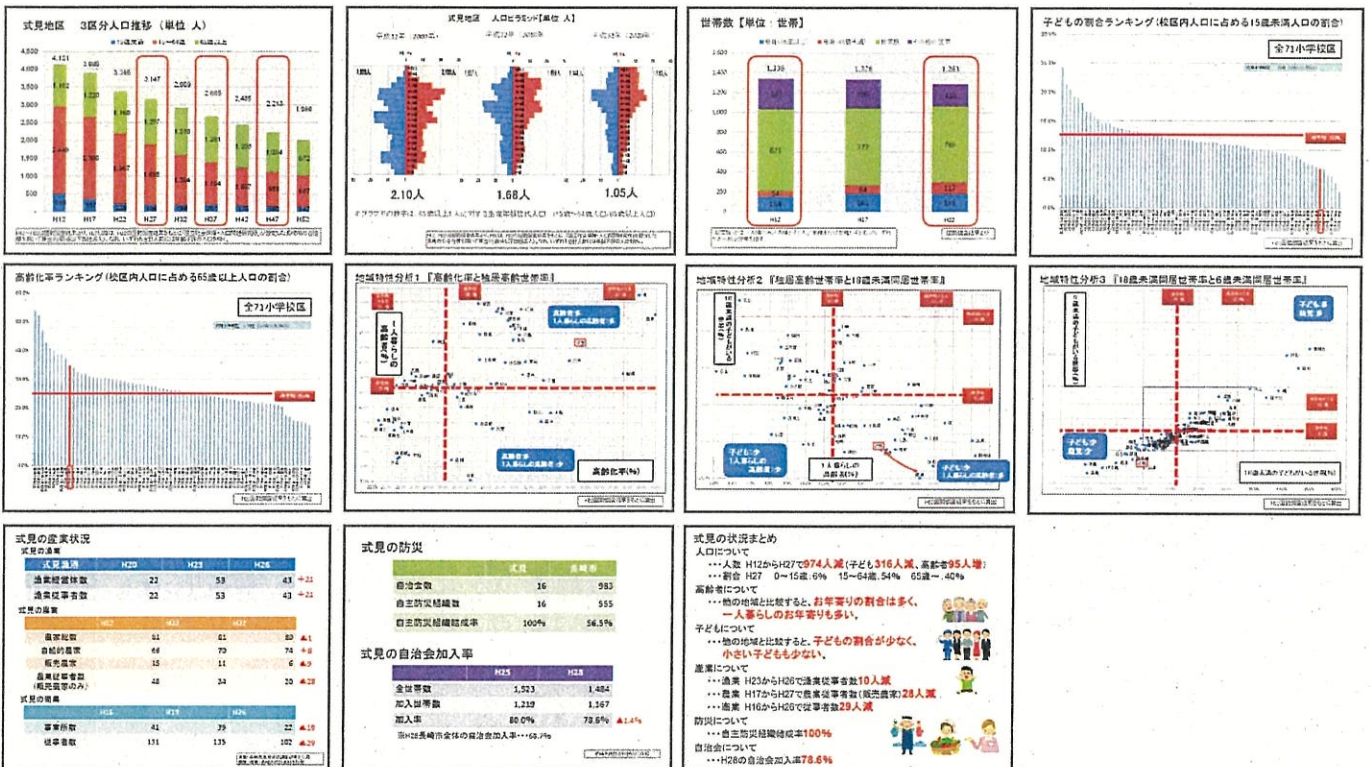
式見地区の高齢者の割合や一人暮らしの高齢者の割合は、市内平均より高く、18歳未満の子どもの割合は市内平均より低いものとなっています。

農業・漁業・商業の従事者については、年々減少しています。

地域内の活動については、自主防災組織結成率が100%であり、危機管理の意識が高く、また、自治会加入率も約80%と、住民同士のつながりが強い地区です。

「式見の現状」

- ・お年寄りの割合は多く、更に一人暮らしのお年寄りが多い
- ・子どもの割合が少なく、小さい子どもも少ない
- ・漁業、農業、商業は従事者が減少している
- ・自主防災組織結成率が100%
- ・自治会加入率は約80%



3 式見地区の宝

(1)人・交流

- 子ども
- 人が温かい
- チェーンソーアートの名人
- 式見銀座商店街を盛り上げて行こうという住民の気持ち
- リサイクル品をリヤカーで運んでいる老人会の方
- 猫(動物)との共存
- 豊富な人材
- 老人が元気に過ごせる雰囲気
- 式見保育園長さんの優しい笑顔

(2)歴史・文化

- 式見くんち
- 式見弁
- マ代窯
- 霊屋(たまや)
- 観音堂
- 園田地区諏訪神社
- 寺
- 櫛城址(しきみじょうあと)
- 式見ペーロン
- 学校の校歌
- 田福墓地のお墓の風景
- 三清入道の墓
- 乙宮神社
- 淡嶋神社
- 「いぶ食堂」の恵比寿様
- 海の近くにある町並み

(3)自然・名所

- ホタル
- 式見川ウナギ
- 海を臨む美しい景色
- 神楽島
- 長崎サンセットロード
- 式見ダムからの見える岩屋山
- 地層(中尾地区海岸沿い)
- あぐりの丘
- 旧式見高校跡地(式見高校跡地内にあるクライミング施設)
- イノシシ
- 美しい海
- 伊王島まで見える景色
- 海に沈むでっかい夕日
- 観音岩(人形岩)
- 園田地区にある水源
- 式見ダム公園

(4)食べ物

- 式見かまぼこ
- 手打ちうどん(相川)
- 式見唯一のお豆腐屋さんの厚揚げ
- 早川おこし
- かんころもち

4 式見地区の課題

(1) 子どもがいなくなる(子育て、青少年の健全育成に関すること)

- 式見小・中学校がなくなるかもしれない
- 子どもの声がまちから聞こえなくなるかもしれない
- 子育てママが学校行事などの時に子どもを預ける場所がない

(2) 老人だけのまち(健康・福祉に関すること)

- 年寄りばかりのまちになるかもしれない
- 独居のお年寄りが増える
- 高齢者が高齢者を支える式見になる

(3) 地域の衰退(地域活動・交流に関すること)

- 伝統芸能の維持が難しくなる
- 老人が増え、自治会の運営が厳しくなる
- 交流が減り、仲間が減ってってしまう
- 他の地域との交流が上手ではない

(4) 若者がどんどん出ていく(地域・産業振興に関すること)

- 本当は子どもと一緒に住みたいけど帰ってこない
- 跡取りがいなくなり地元のお店が減っていき、買い物が大変
- 地域に出てくる若い人材が少ない
- 農業や漁業が仕事として成り立たなくなる
- 空き家が増える

(5) 生活環境の悪化(生活環境・防犯・防災に関すること)

- 山・畑が荒れる
- 道がせまい(車の横づけが難しい、車が通れない所があって緊急時大変)
- ゴミ出しに困る人が増える
- 海岸通りの県有地の有効活用
- バスなど交通の便が少ない

5 目指すべき将来像

(1)子育て、青少年の健全育成に関すること

- どこに行っても、子どもの声が聞こえるようなまちにしたい
- 子どもと高齢者が触れ合うまちにしたい
- 安心して暮らせるまち。兄姉が弟妹の面倒を見る
- 親がかりでない地域で子育てをするまちにしたい
- 地域外から式見の学校に来たくなるようにしたい
- 4世代で同じ学校に行かせたい

(2)健康・福祉に関すること

- 元気な高齢者が沢山いるまちにしたい
- 高齢者でも元気に働ける場ができる
- お年寄りが安全・安心に住めるまち

(3)地域活動・交流に関すること

①地域活動について

- ペーロンができること
- 季節を楽しめるまちにしたい
- 地域の歴史、慣例の見直し
- 日本で有名なまちにしたい
- 式見の人たちの活気があふれている
- 長崎のマカオ(カジノ)
- 「婚活のまち」式見
- 何かテレビで取り上げられるような日本一のものがあつたらいい

②交流について

- 知らない人でもいつでも挨拶、世間話ができる
- 自分たちの地区の子どもの顔、名前がわかるくらいな関係性
- 人々が常に集まる場所がある
- 他人のことに口を出さない、悪口を言わない式見にしたい

(4)地域・産業振興に関すること

①若者について

- 若者であふれているまちにしたい
- 若い人が働けるまち式見
- 現役世代の仲間を増やしたい
- 他所から人口が流入するようなまちにしたい

②産業について

- 大きな会社が進出するようなまちにしたい
- 働く所がある町にしたい
- 海と山を活かした産業を作って活気を
- 式見でしか買えない名物を作ってブランド化
- 「材木」のまち式見!!
- 商業施設が増え、人が集まるまちにしたい

(5)生活環境・防犯・防災に関すること

①環境について

- 美しいまち式見
- 雑草地をキレイに
- 高齢者でも移動しやすくなる地区
- 海岸線に遊歩道がある式見

②交通について

- バス路線の見直し
- 路線バスの本数が減少しない
- 車の運転がしやすい道路に

③土地の有効活用について

- 釣り場があって、マリンレジャーのまち
- 自然を生かしたアトラクションや施設を増やしたい
- 空き家・空き畑の利用
- 美術館や石資料館のある式見

6 式見地区のまちづくり基本理念

夕日の輝き 子どもは元気 つながり強き ～この町どこなの？式見なの！～

【基本理念とは】

人がやることに完璧はありません。時には迷ったり、うまくいかないこともあります。理念とは、そんな時に拠り所となる原点の思いです。

何のためにまちづくりを行うのか、10年後の目指す姿は何かなど根本的な目的を明確にして、式見に住むすべての住民に共感してもらえるような基本理念(キャッチフレーズ)をみんなで考えました。

【キーワード解説】

▶夕日の輝き…

式見地区には地区全体が一望できる高台が各所にあり、そこから海に沈む夕日の輝きと神楽島の風景は誰もが誇れる風景となっている。

▶子どもは元気…

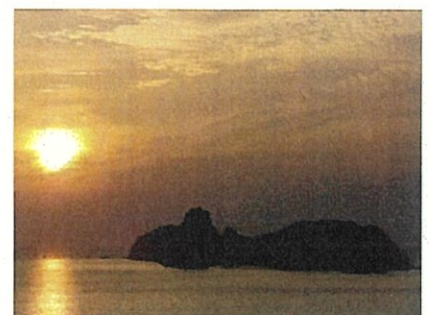
地域の宝である子どもの声が、いつまでも元気に響き渡る式見であってほしい。

▶つながり強き…

互いに助け合いながら、隣近所とも仲がいい式見の風土は、地域の自慢であり、今後も大きな力となっていく。

▶「き」～式見のエノキ～

式見小学校内にある推定樹齢300年以上になるエノキは、式見の重要な場所の目印として今に残っている。エノキを連想して、理念の単語の最後にすべて「き」という韻を踏んでいる。



【神楽島と夕日】

7 式見地区の事業の提案

次の事業は、式見地区の特徴をさらに伸ばす事業、あるいは地域の課題を解決し、目指すべき将来像に導くための事業として、計画書策定の経過の中で出された意見を基に検討したものです。大きく分けて、次の5つに分類されます。それぞれの分野の事業内容については、次頁に記載しています。

今後、実際に取り組むべき事業についてさらに検討し、住民への説明、賛同を得たうえで可能なものから実施していきます。

(1) 子育て・青少年の健全育成に関すること

	㊦ お金も時間もかからない	㊩ お金はかからないが時間がかかる
① 学校について	<ul style="list-style-type: none"> ● 青雲学園を見学(創成館も見学)エリート養成校を見据えて ● 郷土色豊かな学校をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・ かまぼこづくりの体験 ・ 伝統芸能(女相撲、コッコデショ、龍踊り) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校のカリキュラムに「しつけ教育」を導入することで、人材が育てられる ● 子どもたちが式見に帰りたい住み続けたい、式見愛が強くなる仕掛けや教育 ● 学校法人設立(呼び寄せる) ● 金八先生やGTOみたいなすごい先生を呼ぶ
② 学校外について	<ul style="list-style-type: none"> ● 年配の方の授業、地域の方との交流をする ● 隣近所で子どもを預かる(自治会に相談する) ● 外から移ってきても安心して子育てができる仕掛け <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て世代のコミュニティをつくる(サロン等) ・ 子育てママの用事の時に地域の方などが預かってくれる場づくり ● 不用品バザー 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもが学校から帰ってきて、安心して遊べる場所をつくる(既存の場所を活用) ● 基金をつくる(収益を得る)

◆これからの式見地区の事業

- (1)子育て・青少年の健全育成に関すること
 - ①学校について
 - ②学校外について
- (2)健康・福祉に関すること
 - ①健康・福祉について
- (3)地域活動・交流に関すること
 - ①地域活動・交流について
- (4)地域・産業振興に関すること
 - ①過疎化対策について ②漁業について
 - ③農業について ④商業について
 - ⑤観光について ⑥過疎化対策・漁業・農業・商業・観光に共通
- (5)生活環境・防犯・防災に関すること
 - ①生活環境について
 - ②防犯について
 - ③防災について

㊦ お金はかかるが、時間はかからない

- 漁業者の育成学校で釣りのプロが校長
- クラブ活動を強化する。この部活が強いから通わせるとなるように、指導力のある先生を呼ぶ

- 助成金・補助金
 - ・家族で住むと助成金が貰える
 - ・移住者優遇策(おむつを貰える)
 - ・空き家に住むために改修の助成金
 - ・子ども1人につき100万
 - ・子ども3人以上出産したらお祝い
 - ・子育て世帯へのサービス充実。病院代・教育費優遇

㊧ お金も時間もかかる

- 保育園を作る
 - ・空き家を利用した無料の保育園
 - ・祖父母宅の近くに車の止めやすい保育園をつくる
 - ・森の保育園
 - ・夜間保育があつてできれば病児も
 - ・24時間の保育園を市営アパートと併設でつくる
- 小、中一貫教室(式見の売りに)
- エリート養成学校を作る

- 学童から人があふれているので、放課後子ども教室を
- 残業しても子供を安心して預かってもらえる場所を
- 若い人が住みやすい環境を整える
 - ・コンビニ、ショッピングセンター、道路
- 若い人が移住したくなるまちの取組み
- 小児科の病院をつくる

(2)健康・福祉に関すること

㊦ お金も時間もかからない		㊧ お金はかからないが時間がかかる	
① 健康・福祉について	<ul style="list-style-type: none"> ● 楽しいことで人を呼ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・ 野菜、みかん、魚がもらえるバザー ・ 物々交換会 ・ 楽しい企画ができる、歌が上手な人リストをつくる ● 高齢者に集会の参加をお願いし、健康のために全員で協議 ● 子どもの見守りで高齢者元気に! ● 歯磨き講習会 		<ul style="list-style-type: none"> ● 老人の何でも屋を募集する ● 包丁研ぎ会 ● 高齢者の特技を生かす機会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 包丁研ぎ ・ 調理のプロ ・ パソコン ・ 子守り

(3)地域活動・交流に関すること

㊦ お金も時間もかからない		㊧ お金はかからないが時間がかかる	
① 地域活動・交流について	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校でボランティア部を作り地域行事の企画を考える ● 自治会だよりに地域の人コメントを載せて発信 ● 学校の空き教室を利用する ● 嫁いできた子育て中のお母さんの交流の場をつくる ● 地区間での三世代交流会 ● お花見(見崎公園で) ● 蛍の鑑賞会のPR ● 夕日の鑑賞会 ● 潮干狩り ● 式見地区全体で親子相撲大会 ● 式見地区全体でラジオ体操 ● 自治会行事をSNSで発信 ● 釣り大会 ● 式見太鼓 ● 学校と地域が協力しながらできることを考える ● 放棄地にクスの木を植樹 ● ジグソーパズル教室をする ● 魚のさばき方教室をする ● ウォーキング大会を行う ● まちあるきを行う 		<ul style="list-style-type: none"> ● ペーロンとか式見ならではの体験メニューを考える

㊦ お金はかかるが、時間はかからない

- 老人クラブであぐりの丘に花を植える
- カラオケを併設する
- ウォーキングロードをつくる
- 道路拡大

㊧ お金も時間もかかる

- 式見荘まつりの活性化
- 合同でサロンを開催し、各自治会で幹事を当番制にする
- 高齢者のサロンを開く。集まる場(カフェ)
- 空き家を利用し、介護施設を作る
- 移動型の温泉をつくる
- お酒も飲める集いの場(サロン)
- 高齢の方が運営する食堂(子どもも手伝う)
- 高齢者自治区の新設(バリアフリーの住宅を作る)

㊦ お金はかかるが、時間はかからない

- 夏まつり
 - ・ 歌手を呼んでカラオケ大会
 - ・ 盆踊り
 - ・ 近くから見ることのできる花火をPR
- 季節ごとにイベントを行う
- 陶芸教室
- 落語会の開催
- サンセットロードに桜を植えて、お花見
- 行事に対して自治会から費用面で応援
- 屋外での映画鑑賞会
- 空き家カフェをつくる
- 昔の行事・物づくり

㊧ お金も時間もかかる

- 海鮮食堂をつくる
- 大きなアスレチック施設をつくる
- あぐりの丘をアスレチック場に
- 温泉施設をつくる
- マラソン大会を開催し、人が集まるまちに

(4) 地域・産業振興に関すること

	ア お金も時間もかからない	イ お金はかからないが時間がかかる
① 過疎化対策について	<ul style="list-style-type: none"> ● 三世代家族のモデル地区 ● 県営・市営住宅を建てるよう議員さんに要望してもらう ● 落語会を定期的開催(式見荘) ● 花嫁募集 <ul style="list-style-type: none"> ・ 集団お見合い ・ 独身(男)のリーダーを見つける ● 海・山・人が良いをアピール ● 空き家 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査&マップづくり ・ PR(TV・ラジオ・ネット・メディア) ● 若い人の意見を聴く場をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家 <ul style="list-style-type: none"> ・ 安く貸す(無料で貸す) ・ 式見版空き家バンクをつくる ・ 子どもの留学、夏休み民泊(田舎体験) ・ 買収(売れた空き家を成功事例に!!) ・ 不動産と提携 ・ 移住者を募り、空き家を20代の夫婦に低額で貸して体験移住 ・ 地権者を調べる(地権者の意向を確認する) ・ 自治会の集会所にする
② 漁業について	<ul style="list-style-type: none"> ● 釣りの聖地であり人が集まる ● 遊漁船で女性でもできる魚釣り 	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場見学(かまぼこ)
③ 農業について	<ul style="list-style-type: none"> ● あぐりの丘やがんばランドで販売している芋を地元で販売する ● 畑の自給自足体験 ● 小学生を対象とした農業の体験学習 	<ul style="list-style-type: none"> ● 使っていない畑の活用

㊦ お金はかかるが、時間はかからない

㊧ お金も時間もかかる

- 花嫁募集
 - ・ナイナイのお見合い企画を式見で開催

- 遊具場が沢山ある公園をつくる(木の遊具場)
- 車が横付けできる住宅
- 空き家
 - ・リフォームで民泊!(水回りの改修)
 - ・介護施設を作る
 - ・学生の下宿所を作る(安価で住める)
- 長崎で一番広い遊具場をつくる
- 田熊の浜の下を別荘地に(景色が良い)
- 花嫁募集
 - ・結婚できる若者への経費援助
- 新団地造成

- 式見かまぼこでB級グルメレシピをつくる
- 釣り大会
 - ・婚活、魚さばき、釣り方
 - ・漁協に協力依頼

- 海鮮食堂をつくる
- 釣り桟橋建設(PRする)
- 体験事業と水産加工場を絡めて稼ぎ、地域の方を雇う
- 式見ちくわを復活させ、体験型の店をつくる
- アワビ養殖のまち式見
- スマホで洋上取引魚販売

- 奈良漬を直売所で発売
- かんころもちの物産化
 - ・スイーツ、フルーツを混ぜ込む

- イノシシ
 - ・牧場の開設
 - ・ソーセージをつくる
 - ・バーベキューをする場をつくる
- 式見の地酒を作る!!(ご当地ワイン)
- 昔あったヨーグルトの復活

ア お金も時間もかからない

イ お金はかからないが時間がかかる

<p>④ 商業について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●あぐりの丘のチョコレート企業 	<ul style="list-style-type: none"> ●カフェができる。古民家風
<p>⑤ 観光について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●旧式見高校跡地活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ボルダリング施設をつくる ●淡嶋神社、乙宮神社をまちあるきのポイントに取り入れる ●式見主催のおもてなしツアー ●神楽島を利用(島クルーズ船運航) ●淡嶋神社が女性の守り神であることをもっと知ってほしいので、神主さんと話してストーリーをつくる ●神社とかで、ご利益とかストーリーを作り、パワースポットとして売り出す ●乙宮神社、神楽島のキャラクターを募集! 	<ul style="list-style-type: none"> ●式見の自然を活かした観光(段々畑や舞岳の石積みに子どもが大変興味を持っていた) ●ペーロン体験
<p>⑥ 過疎化対策、漁業、農業、商業、観光に共通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●企業へ空き家・土地アピールして誘致 ●式見の魅力の発信(PR動画を作る) ●式見かまぼこと早川おこしを、ヨジマルで梅元さんに取り上げてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅展示会場の誘致 ●起業を応援する仕組み ●既存施設を活用してビジネスを生む ●生産者を募って会社を作る。出資額により配当する

㊦ お金はかかるが、時間はかからない

㊧ お金も時間もかかる

- 飲む店がある
- 式見うまかもん市の開設
- 特産品が集まる市場をつくる
- 相川の手打ちうどんを売り出す
- 特産品で観光客がランチを食べる店
- 式見の木で炭焼き小屋づくり、バーベキュー

- コンビニをつくる
- カラオケ店を始める
- 間伐材料で家具を作り販売する
- 海べたに共同でマルシェをつくる
- 式見くんち、ふるさと祭りに合わせてマルシェを開催
- 人が集まる道の駅
- 海岸空き地にスポーツ施設を

- 夕日の見えるスポット整備(海岸線に遊歩道、高台、デートスポット)
- 新婚さん向けに淡嶋神社のパンフレットを作って、ホテル・式場に置く
- 桜・紅葉通りをつくる
- 式見ダムを活用する

- あぐりの丘にコテージ、キャンプ場、大型リゾート施設
- プロ野球球団のキャンプを誘致し、あぐりの丘高原ホテルを利用してもらう
→ 沖縄・宮崎に視察し、プロセスを学ぶ
- 温泉を掘る(温泉掘りツアーを企画しお金を集う)
- 健康ランドをつくる(1F直売所、2F温泉のビル建設)

- 特産物の商品化に取り組む
- 港の活用による活性化
- 月1回朝市(水産品、農産品)

- 工業団地をつくる
- 地元企業は、従業員の地元居住を条件
- 大手企業の社宅をつくる
- 旧式見高校跡地活用
 - ・ 大村ボートの場外舟券売り場にする
 - ・ 公園と大型店をつくる
 - ・ 温泉施設をつくる
 - ・ 介護学校を招致
 - ・ 跡地を小さく切りわけ、貸出しやすくして利用を促す
 - ・ ホテルを造る。夜景きれい
 - ・ 「県自然の家」をつくる
 - ・ 研修施設として活用
 - ・ 合宿施設(かきどまり運動公園と連携し、スポーツ宿泊施設として活用)
 - ・ 大手の業者に提供して団地をつくる
- 旧式見高校下を造成開発し、世帯数を増やす
- 地場住宅会社で、ミニ開発住宅団地をつくる

(5)生活環境・防犯・防災に関すること

	㊦ お金も時間もかからない	㊧ お金はかからないが時間がかかる
① 生活環境について	<ul style="list-style-type: none"> ●季節の花をまち全体に植える(コスモス、菜の花など) ●草刈、ゴミ拾いを定例化する(式見をきれいにしよう会など) 	
② 防犯について	<ul style="list-style-type: none"> ●1人住まいの高齢者に日々の呼びかけ ●空き家周辺の日常的な点検 ●消費者詐欺の被害防止の講習・講演 ●空き家を貸してもらえるように交渉 	
③ 防災について	<ul style="list-style-type: none"> ●地域で定められている避難所を回覧板で定期的に回して住民の方に周知を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ●避難訓練 <ul style="list-style-type: none"> ・体験型で新たな大潮対策 ・地震

㊦ お金はかかるが、時間はかからない

㊧ お金も時間もかかる

- イノシシ対策のフェンスを一斉に作る
- 駐車場対策を考える
- 道路対策を考える

- 相川港の海水浴場整備
- 水をきれいにして、ホテルまつりをパワーアップ
- 花を見物するところを整備する
- 式見ダム
 - ・ 周辺にもみじを植えて、紅葉狩りの名所にする
 - ・ 式見ダムは誰が見ても美しい。その良い場所に古民家で集まる場所を
- 自分の名前の木(皆に木を植えてもらう)
- 市道相川町四杖町1号線を完成させる
- 新道に桜並木(街道)
- 循環バス(お礼をお金以外で支払う)
- マイクロバスを通す
 - ・ 維持費を市にかけあう
- インフラ設備の強化
- 駐車場を確保する(駐車場付きの住居)
- 区画整理して車が入りやすくする

- 防犯カメラの設置

8 これまでの経緯

第1回 ワークショップ

日程▶平成28年10月20日(木)

時間▶午後7時～9時

場所▶式見地区公民館講堂

参加▶75人

テーマ▶地域の宝物は何か

どう生かすか考える



将来の式見地区を考えていくために、「式見のこれからプロジェクト」と称し、「式見地区住みよいまちづくり情報交換会」(半年に1回開催予定)と「わがまちみらい工房in式見」(全7回)がスタートしました。

まず、式見地区にある宝物は何か、いまいちなものは何か、それらをどう生かしていくかについて、話し合いました。初めての工房でしたが、皆さん活発な意見が出ました。そして、集まって話し合うことで、様々な意見が出ることを実感できました。

第2回 ワークショップ

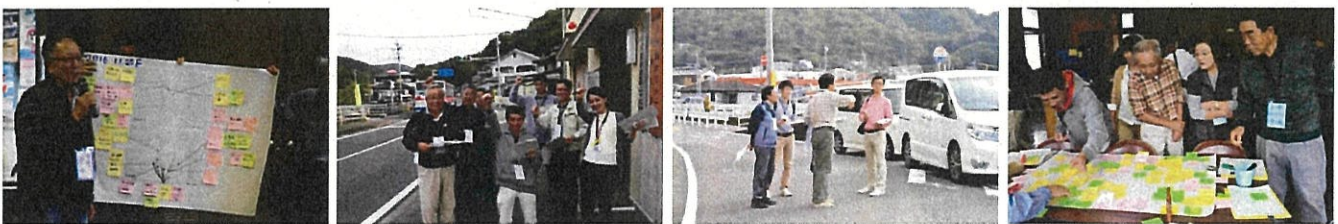
日程▶平成28年11月20日(日)

時間▶午前9時～午後0時30分

場所▶式見地区公民館講堂

参加▶69人

テーマ▶まちを歩いて地域の宝を再発見する

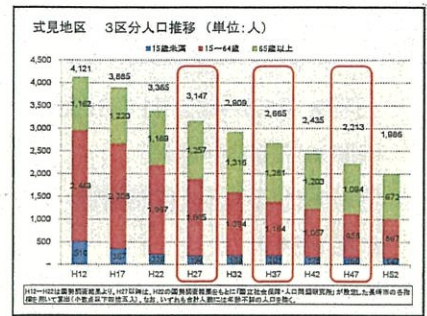


式見のまちを知るために、8班に分かれてまちを歩きました。実際に歩いて、いいなと感じたことや、いまいちだなと感じたことを地図に落としました。普段あたりまえに生活しているまちのなかから、宝物を再発見することができました。

休日に開催した第2回の参加者の中には、保育園に通う女の子も参加していました！

第3回 ワークショップ

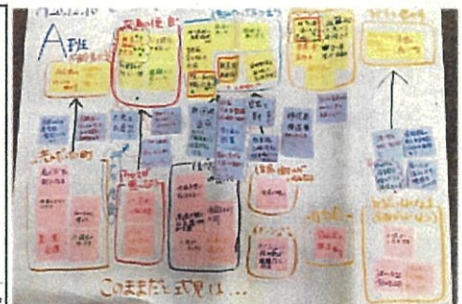
日程▶平成28年12月16日(金)
 時間▶午後7時～9時
 場所▶式見地区公民館講堂
 参加▶57人
 テーマ▶式見の置かれている現状を知り、
 将来住みたい式見を考える



式見の現状の統計から予想される将来のデータをもとに式見の将来について話し合いました。少子化・高齢化といわれるなか、実際にこの先どうなっていくのかをデータで見ることで、式見の置かれている状態を再確認しました。そのうえで、このままだと10年後どうなっていくか(成行きの将来)、こんな式見にしたい!こんな式見に住みたい!!(可能的将来)について話し合いました。

第4回 ワークショップ

日程▶平成29年1月20日(金)
 時間▶午後7時～9時
 場所▶式見地区公民館講堂
 参加▶55人
 テーマ▶住みたい式見にするために
 手立てを考える



第3回の続きとして、こんな式見にしたい!こんな式見に住みたい!としていくための手立てについて話し合いました。

アイデアを作り出すことはとても難しい作業ではありましたが、式見の将来のために、みんなで協力し合って話し合うことで、意外なアイデアも出てきました。改めて、真剣にまちの将来を考えることができました。

第5回 ワークショップ

日程▶平成29年2月17日(金)
 時間▶午後7時～9時
 場所▶式見地区公民館講堂
 参加▶54人
 テーマ▶式見の理念を考える

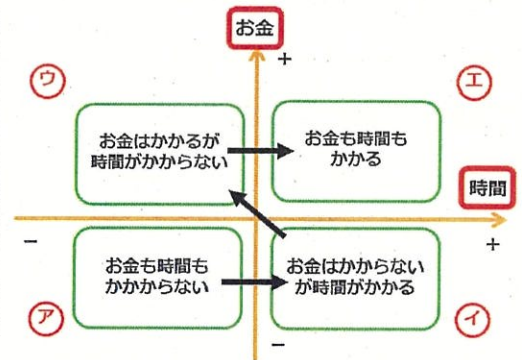


今まで話し合った中から出してきたキーワードをヒントに、10年後の式見のまちづくりの理念(キャッチフレーズ)についてみんなで話し合いました。

理念についての必要性を話したうえで、他都市の例や式見小学校や式見中学校の校歌を参考にしながら作りました。各班ともに個性豊かな意見が出たり、それぞれ共通のキーワードも出たりして、多数決をした結果、2つまで候補を絞りました。

第6回 ワークショップ

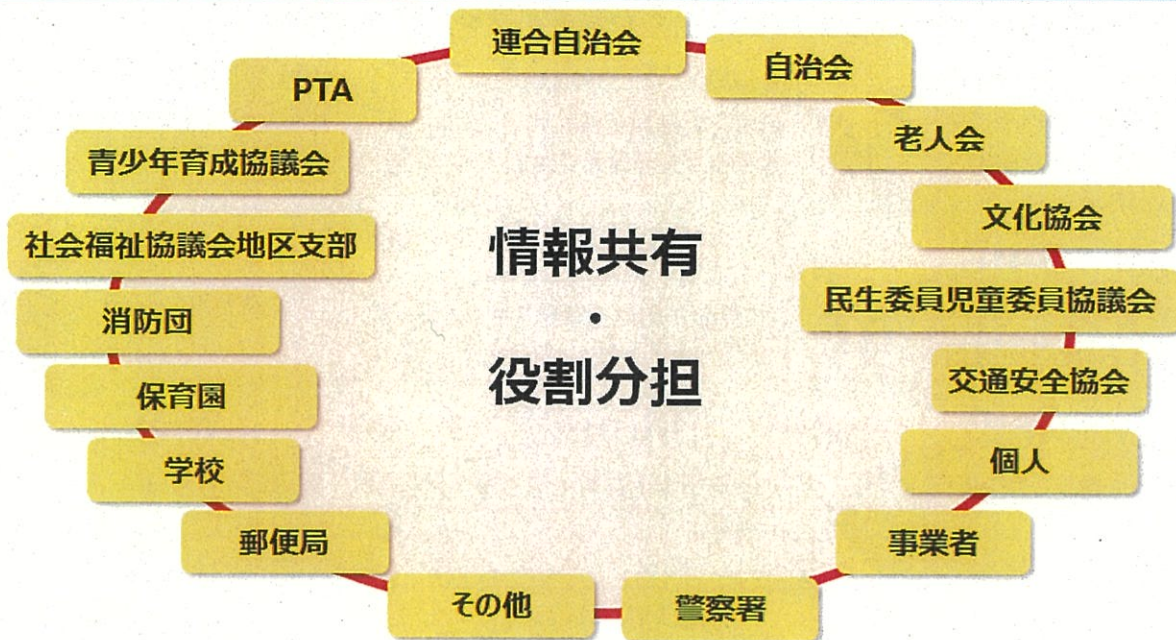
日程▶平成29年3月17日(金)
 時間▶午後7時～9時
 場所▶式見地区公民館講堂
 参加▶47人
 テーマ▶式見の理念を考える(続き)
 まちづくりの計画書をつくる



第5回の続きとして、式見のまちづくりの理念を2候補の中から1つに決定しました。

まちづくり計画書づくりは、自分が興味があるテーマごとにグループに分かれて、今まで出した意見を、縦軸をお金、横軸を時間とした表に整理しました。その後、実際取り組むべき事業を、選ぶ理由とどのように取り組んでいくかというストーリーを考え、発表しました。

9 計画を実行していくために



式見地区の将来像に近づけるため、みんなで作り上げた計画を実行していくことが大切ですが、現段階では実行していくうえで、下記の課題が考えられます。

式見地区には様々な分野で活動している団体があります。今後、計画を実行していくにあたり、お互い情報共有しながら、どのように役割分担して実行していくかなど、みんなで話し合っ決めていきましょう。

計画実施にあたっての課題

- 1 実行するための体制づくり
事務局と関心がある分野ごとの部会等を作り、役割分担し合える体制
- 2 地域住民への情報発信・共有
地域に住む皆さんに活動を広く知ってもらうために、情報を発信し共有しあうため

さあ、今からが
スタートじゃ!!



【恵比寿様】

10 参加者の意見

第6回「わがまちみらい工房in式見」で出された参加者の声をご紹介します。

若い人の話を聞いて、参考になった。より頑張ってもらいたい

知らない意見も肉付けしながら、先が見えてきた

お金をかけずにできることが意外とある

軸の基準をもっときちんとして決めておけばよかった

式見のために、意見をもらえてよかった

大変有意義でした

今日が一番楽しかった

プラチナ人材センター実現を！

未来が見えてきた

動ける場ができたらいいなと思った

実現できそうな気がしてきた

1回目からきている。もう1回参加します

コミュニケーションできて嬉しかった

実際どのような形になるのか楽しみだ

今日の会が一番見えてきた感じがする

ぜひ実現を

夢物語に終わらせず、実現していきたい

しっかりと実現していきたい

今日決められたことが、確実に実行できるように頑張りたい

2回目の参加。共通のテーマで地域の方が集まって交流深めることは良いこと

全グループのテーマが違ったけど、全部一色たんになると思った

これから本番!皆さん一緒に声をかけて、たくさん集まってくださいますようお願いします!

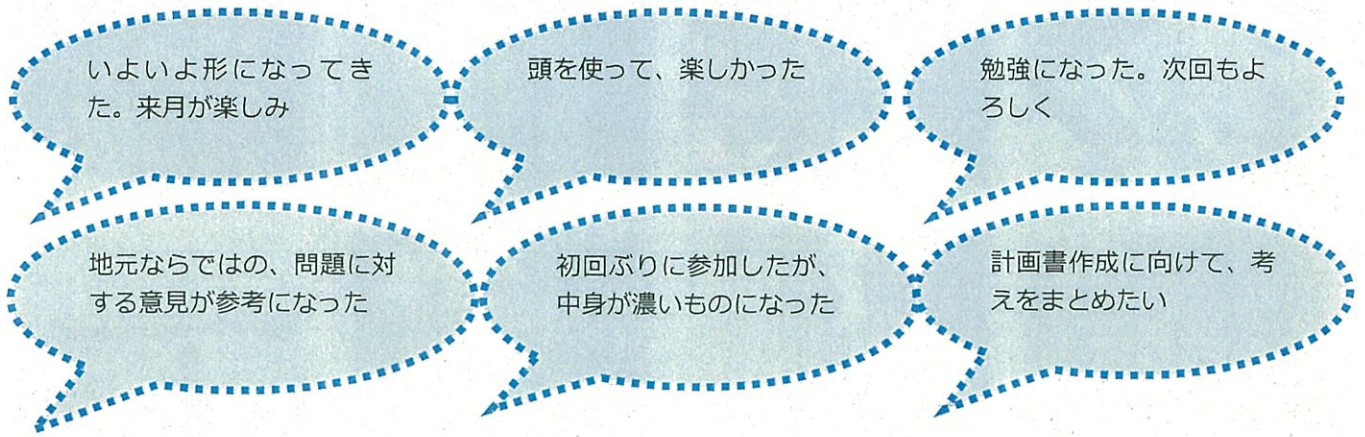
老人会メンバーとして、参考になる意見を得られた

楽しかったです。みんなの発表を聞いて「そうだ」と思った。5年以内にこれができるよう祈りたい。1日も早い実行を

皆さんの意見が活発で素晴らしい

プロジェクトチームを立ち上げていきたい

包括も協力していきたい



「わがまちみらい工房in式見」に参加された方は、まちづくり計画書を作るだけでなく、これからは実行するための本番だと、実感した方が多かったようです。

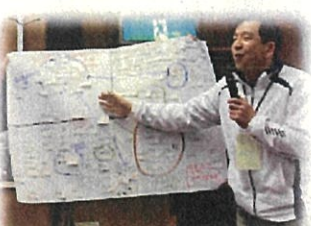
11 この計画書策定に参画された団体

今まで、わがまちみらい工房in式見に多くの団体・個人の方々に参画いただきました。ここでは参画された団体等をご紹介します。(順不同)

団体	
式見地区各自治会	式見地区青少年育成協議会
式見地区連合自治会	式見小学校PTA
式見地区老人クラブ連合会	式見中学校PTA
式見地区文化協会	(福)神楽会 いこいの園
式見地区民生委員児童委員協議会	(福)福陽会 小規模多機能介護センター オーシャン
社会福祉協議会式見支部	式見保育園
交通指導員	式見小学校
稲佐地区交通安全協会式見支部	式見中学校
交通安全母の会「すみれクラブ」	北多機関型地域包括支援センター
稲佐警察署式見町警察官駐在所	小江原・式見地域包括支援センター
式見郵便局	個人

※この計画書で掲載されている内容は、話し合いの中で出された意見です。







最後に…

朝歩いている道端の風景や、季節ごとに感じる花や海のおい、隣に住んでいる人との何気ない会話や、家族と過ごす団らん。そこには「日常」があります。

この「日常」を変わず未来の式見にも残していくためには、今から考え、行動していかなければなりません。

皆さんは10年後、どんな式見になっていてほしいですか。

自分が住んでいるまちを愛する気持ちは皆変わりません。

本計画書には、式見の将来を考え、参加していただいた皆さんの思いが詰まっています。

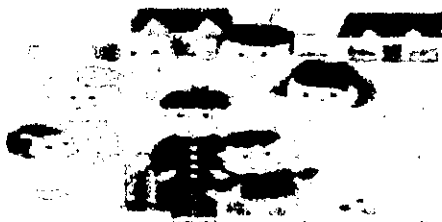
ぜひ一度お読みいただき、一緒に実行していきましょう！

問い合わせ先▶長崎市役所式見支所 (841-0211)

わがまちみらい工房

ダイヤモンド

まちづくり計画書



ダイヤモンドまちづくり連絡協議会

私たちのまちづくり計画

ダイヤランドまちづくり連絡協議会

1、「ダイヤランド、まちづくり連絡協議会」

協議会名	「ダイヤランドまちづくり連絡協議会」	
事務局	「ダイヤランド・小ヶ倉ふれあいセンター」 ・長崎市ダイヤランド4-1-1 ・電話(095)-879-4609	
代表者	会長 中野 敦 之	
協議会の発足	平成15年5月27日	
協議会の区域	ダイヤランド地区(1丁目~4丁目の範囲)	
会員数	・4,972人 ・2,162世帯 (平成29年12月末日現在)	

2、協議会発足までの経緯

地域の状況	1984年、大型団地として造成開発された「南長崎ダイヤランド」インフラも完備し住みやすい町として短期間に多方面からの転入者で町は活気にあふれたが、しかし団地故の宿命である「人間関係の希薄」「連帯感の欠如」等々は「ベッドタウン」の様相を呈してきた。人口もピーク時には6,000人を超える状況であったが、少子高齢化の社会現象の波はこの街にも押し寄せ、現在では高齢者の増加と子どもの数の激減が顕著で、新たな街づくりの問題として浮上してきた。
まちづくりへの住民の声	「ベッドタウン化」「価値観の多様化」「組織からの逃避」等々の現象がある中で、町のあり方等についての住民の総意を把握することは非常に困難であるが、これまでに2回にわたり50人~100人の住民による「ダイヤランドの町」を語る催事でのワークショップや意見交換等から「まちづくり」の方向をうかがい知ることができたし、また、これまで60回に及び各団体等の代表者による協議会で住民の意見や要望等を把握することができた。更に最新の住民の意見を聞く「ダイヤランド未来会議」には住民73名が参加して、「まちづくり」について学習したり、ワークショップで意見等を出し合う中で貴重なご意見や感想をいただいたが、その意見の多くは現在の「まちづくり活動」の継続への激励やご示唆がほとんどで、これからのまちづくり活動への心強い応援であると捉えることができた。

3、連絡協議会の発足と目指す町づくり

連絡協議会の発足	全国的に(長崎県でも)子供に関する悲惨な事件が多発し、多くの住民の声が高まる中、1年間の準備期間を経て平成15年、「連合自治会」の主導のもと「育成協」「民生児童委員会」の賛同を得て「ダイヤランドまちづくり連絡協議会」が発足した。その後、大浦警察署の指導と支援をいただきながら紆余曲折の経過をたどりながら、「防犯団体」としての進む方向やあり方が焦点化されてきた。
目指す町の姿	現在は年4回の協議会や役員会等で検討を加えながら創り上げた「町の姿」を次のようにまとめている。 ◎ 協議会が目指す町の姿・・・「安全で安心して暮らせる町」

	<ul style="list-style-type: none"> ・より具現化された町の姿 (1) 人々が心を通わせ、温かくふれあえる町 (2) 犯罪のない、災害に強い、静かできれいな町 (3) 人々が情報を共有し 強い絆で結ばれた町
活動推進の基本的事項	<p>活動を進めていく上で基本的に押さえている事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 個人は <ul style="list-style-type: none"> (1) まちづくり活動の主役は住民ひとり一人である。 (2) 「できることを」「できるときに」「できるだけいい」 (3) ひとりの活動を次の一人へ、更なる一人へ広げ、つなげる核である。 ◎ 諸団体等では <ul style="list-style-type: none"> (1) 活動を進める中で「まちづくり」の趣旨を付加する。 (2) 各団体等の活動の広報・啓発を活発化し多くの参加者を期す。 (3) 活動での効果、課題等については協議会で発信する。 ◎ 全体（協議会主催）では <ul style="list-style-type: none"> (1) 代表者は委員会での協議事項を所属員に伝達・報告をする。 (2) 所属する「部」の委員として事業の企画・運営を行う。

4、協議会の組織

協議会の組織 (組織図)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 協議会を組織する団体等 <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1自治会 ○ 第2自治会 ○ 第3自治会 ○ 第4自治会 ○ アパート自治会 ○ 熟年会 ○ 第2熟年会 ○ 白寿会 ○ ときわ会 ○ 親和会 ○ 大樹会 ○ 南長崎小学校 ○ 小ヶ倉中学校 ○ 青い鳥幼稚園 ○ ダイヤランド保育園 ○ 南長崎小学校育友会 ○ 小ヶ倉中学校育友会 ○ 子供を守るネットワーク ○ 青少年育成協議会 ○ 社会福祉協議会支部 ○ ふれあいセンター ○ ダイヤランド郵便局 ○ 長崎市少年補導委員 ○ 県警少年補導員 ○ 学童保育ほしのこらんど ○ 崎望館 ○ オレンジの丘 ○ 各自治会子供会 ○ 長崎市スポーツ推進委員 ○ 保護司 ○ ダイヤランド青パト隊 ○ 長崎市交通指導員 ○ 包括支援センター (2) 役職等 <ul style="list-style-type: none"> 住民の代表委員及び協議会委嘱委員の中から規約により役員（会長・副会長・会計・事務局長）を選出。 (3) 役員を含む委員を4部会（安全安心部・交流ふれあい部・環境整備部・広報啓発部）に配置し各部では互選により部長・副部長を選出する。 (4) 地域の中から4名の顧問を委嘱する。 (5) 委員の中から2名の監査を委嘱する。 (6) 若干の事務局員を選出する（委員以外からの委嘱） (7) 次の2団体は協議会とは別に独立した活動団体として位置づける。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 青パト隊連絡会 ○ 老人クラブ交流会 ○ 子供を守るネットワーク・・・これは当協議会の直接的な組織ではないが、ネットワークの組織等から当協議会の趣旨に合致すること
-----------------	--

から、ネットワークのメンバーは協議会のメンバーを充てることにしている。

(8) 会 議

○役員会（会長・副会長・会計・事務局長）・・・必要により各部長も参加
*必要により開催

○監査会（監査・会計・会長）
*年に1回実施

○各部会（各部委員及び担当副会長・必要により会長・会計・事務局長）
*必要により部長が招集

○事務局会（事務局長・事務局員）・・・必要により会長・会計も参加
*必要により実施

○委員会（委員及び事務局員・顧問・小ヶ倉交番・必要により市関係課）
*定例会・・・年に4回実施（緊急の会あり）

○その他・・・青パト隊連絡会議（青パト担当者・必要により会計）
*青パト・年2回（2月・6月） *交流会（会長が招集）

5、協議会の活動

活 動 概 要
(活動概要図)

(1) 5部会が活動の企画・実践・啓発などの先導的な役割を果たしていく。

・各部では協議会主催の主行事の一つを主管する。

・住民の日常活動については情報収集や啓発に努める

○ 防災活動・・・主活動「防災体験広場」「災害に備える」等々
・・・日常活動 「夜間パトロール」「火の用心運動」等

○ 防犯活動・・・主活動「地域防犯パレード」
・・・日常活動 「家や車のカギかけ」「子どもの見守り」等

○ 交流活動・・・主活動「ふれあいウオーキング」
・・・日常活動 「あいさつ運動、ふれあいコンサート、等

○ 整美活動・・・主活動「まちなか花いっぱい運動」等
・・・日常活動 「一斉清掃」「講演の美化点検」等

○ 広報活動・・・主活動「まちづくり通信」
・・・日常活動 「各種チラシの作成」「行事予定表」等

● 研修活動・・・役員、一般住民を対象とした「地域のまちづくり」の研修（専門家の講話受講、先進地の研修訪問、リーダー研修、防犯・防災に関する研修）等の機会や場を作り、協議会継続のためのリーダー養成にもつなげたい。

(2) 活動の機会と場

○主活動は協議会主催の事業であるので、それぞれの主管部が中心になって多くの住民参加により開催する。

○日常活動は住民の日常における活動であり、各部では活動への場づくりや啓発を進めていく。

	<p>(3) 委員会の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 通常、年に4回の「協議会委員会」を開催。この会は活動に関する報告や成果、問題点等を出し合い情報交換をする。 ○ 協議会が主管する行事等の計画等について各部から発表する。委員は各所属員へ伝達、啓発する。 ○ その他の協議会活動全般についての意見交換及び住民の意見等を聴取する。 ○ 地元の交番から防犯の実態等について説明を受けたり防犯についての指導を受ける。 ○ 必要により各種の機関等の参加を促す。 ○ 年度当初は総会的内容の運営を入れる。
<p>その他の活動</p>	<p>(1) 独立した活動組織</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「青パト隊連絡会」・・・一般住民からの応募者により青パト活動を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各自の指定した日に活動。 ・ 指定日は各自の自己申告。 ・ 隊員・39名（運転者 23名・同乗者16名） ※平成29年度 ・ 活動・年間概ね260日 ○ 「ダイヤモンド老人クラブ交流会」・・・団地内の6老人クラブで組織。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 老人クラブ会員の交流を主とし、まちづくり活動に自主的に参加。 （老人クラブ交流会・・・会員の交流ふれあいの会・年1回開催） （高齢者の学習会・・・特殊詐欺被害防止・交通事故防止・他） <p>(2) 年間予定表の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協議会を組織する団体等の「年間行事予定表」を作成して町の行事等で活用。

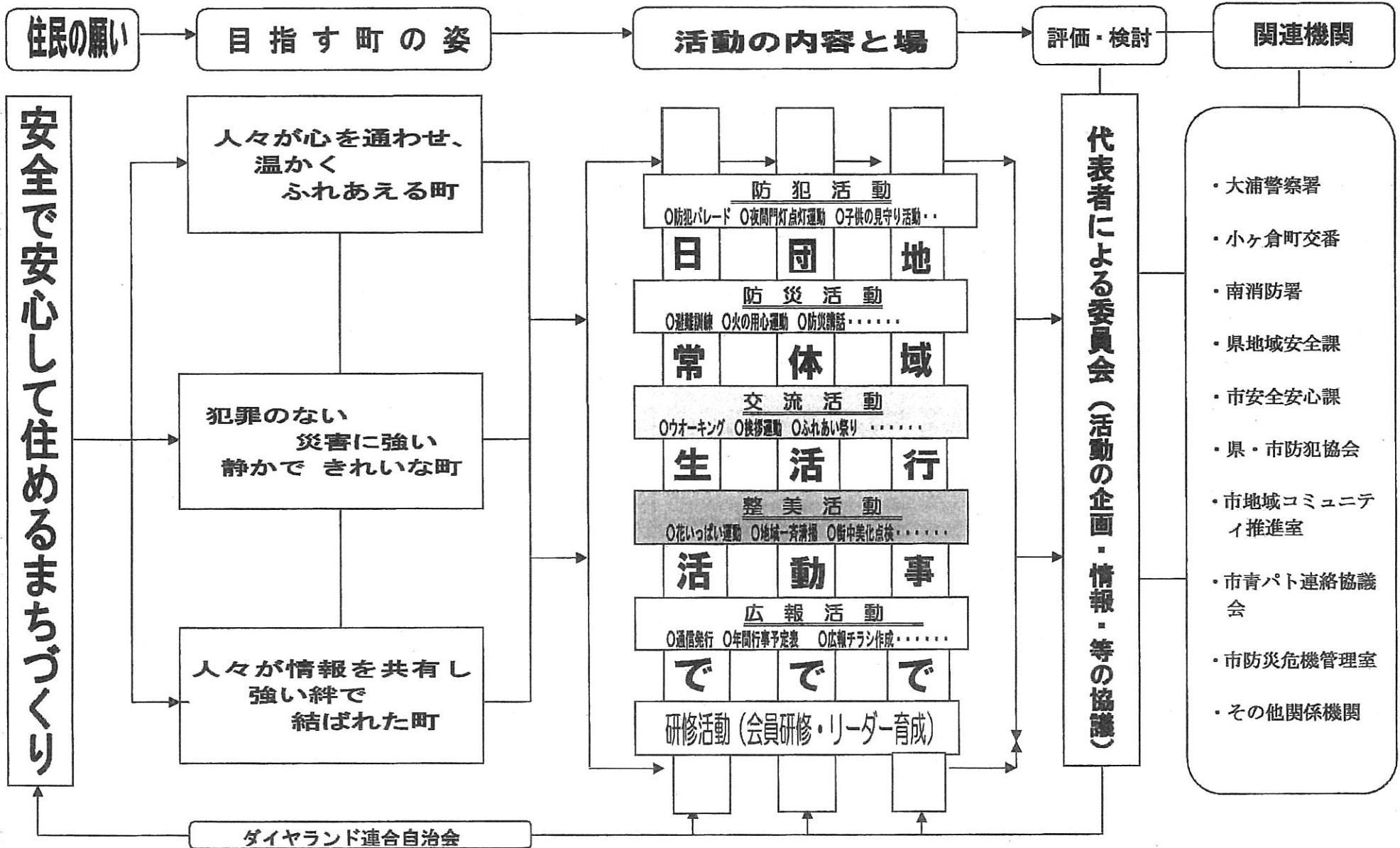
6、課 題

<p>次世代への繋ぎ</p>	<p>(1) これまで協議会を牽引してきた現在のリーダーも高齢化。この後のまちづくり活動を引き継ぐ新しいリーダーの養成は急務。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次年度の活動として、人材の発掘を含めてその方策を考えていく。 <p>(2) ここで生まれ育った子供たちは、まさに地域の宝である。この町はこの子どもたちの「ふるさと」であり、この町に住みこの町を作っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校と協議会の連携強化を図り、学校と関係機関(育友会・育成協・子どもを守るネットワーク・子供会・学童保育等・・・)との協議を重ねながら具体的な行動(集会・行事等)を進める。 ○ 現在の「まちづくり活動」に子供たちの参加を促す方策を考える。
----------------	---

作成 平成30年3月

ダイヤモンドまちづくり連絡協議会事務局

ダイヤランドまちづくり連絡協議会 活動の概要



どいのくび未来サミット

まちづくり計画 策定に向けた 取り組み

「土井首地区まちづくり計画」を作成するため、平成29年7月から平成30年1月にかけて、「どいのくび未来サミット」という名称で地域の皆さんがワークショップやまち歩きを通して、話し合いを重ねてきました。



現状を知る

H29.7.15

第1回 土井首についてみんなで話そう！

将来像や、やることを考える

H29.8.26

第2回 どんなまちにしたいか、何ができるか、みんなで話そう！

H29.9.9

第3回 みんなでまちを歩こう！

H29.10.28

第4回 分野に分かれて、みんなで話そう！

計画書の完成

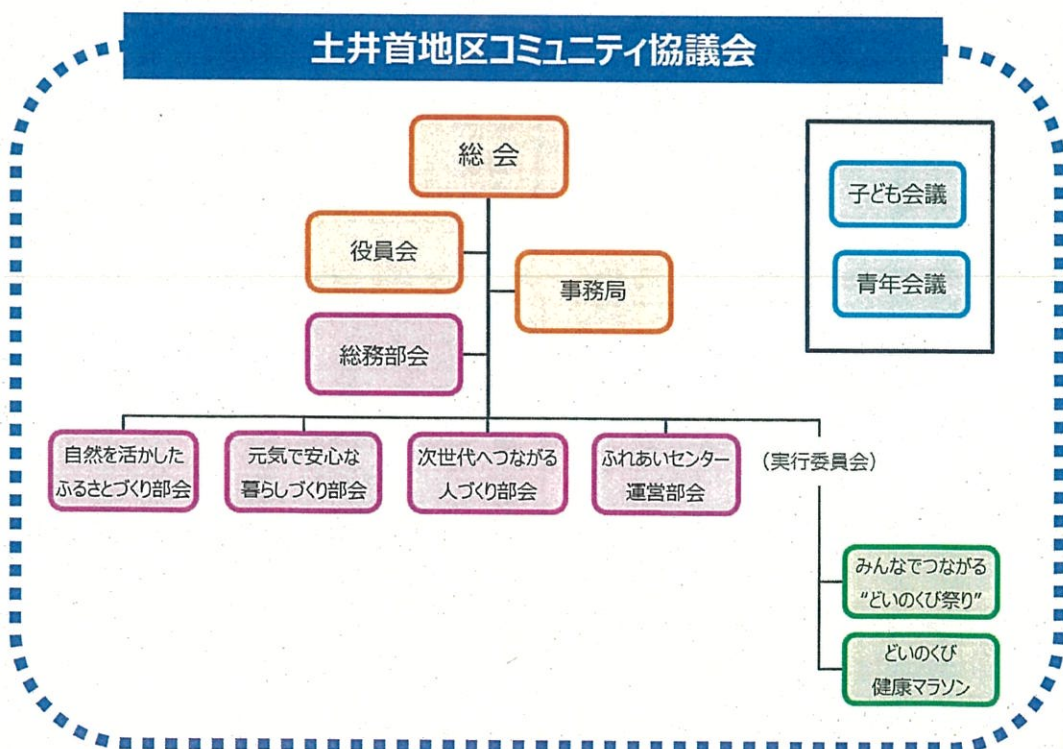
H29.12.9

第5回 まちづくり計画（骨子案）をみんなで確認しよう！

H30.1.21

報告会 土井首地区まちづくり計画をみんなに報告しよう！

土井首地区 まちづくり 推進体制



土井首地区

まちづくり計画

土井首地区の目指す将来像

愛いっぱい

自然と子どもを育むまち 土井首

土井首地区にお住いの皆さんへ

これまで土井首地区では、10年後、20年後もっと暮らしやすいまちであり続けるために、地域の皆さんでまちの未来について話し合う「どいのくび未来サミット」を開催してきました。

人口減少や少子化・高齢化など社会の状況は変化しますが、これからも地域の皆さんに愛され、誇りある土井首であるために、また、次世代を担う子どもたちに安心してまちのタスキを引き継いでいけるよう、住民の皆さんの熱い想いと心のこもった「土井首地区まちづくり計画」を策定しました。

私たちの目指す将来に向かって、毎年必要な取り組みを考え、実現していけるよう地域の皆さんと一緒に取り組み、土井首を盛り上げていきましょう！

※本計画は、時代の変化に合わせて、必要に応じて土井首地区コミュニティ協議会で見直しを行います

▶発行 土井首地区コミュニティ協議会（平成30年1月）



10年後も変わらないと思われるもの

目標実現のために必要な取組み (どいのくび未来サミットで出た意見)

部会

分野	テーマ
きずな	■あいさつ ■行事
自然環境	■自然 ■災害
産業	■広報 ■生産 ■販売
生活	■暮らし ■交通 ■美化 ■健康
安全安心	■防犯 ■防災 ■福祉
子ども	■子育て ■健全育成 ■交流 ■教育
後継者の育成	■伝統文化 ■担い手

▶現状の課題・問題点

■各地区、世代間の交流が少ない ■行事が少ない ■行事の参加者が減っている
■自然災害(大雨、川の氾濫) ■鳥獣被害が心配
■広報力が低い ■名物が少ない
■買い物が不便 ■交通量が多い ■交通事故が多い ■ゴミが多い ■健康に関心が低い ■がん検診の受診率が低い
■不審者が出る ■危険箇所がある ■空き家が多い ■消防団員のなり手が不足 ■高齢者の一人暮らしが増加
■子育て世帯の相談場所が少ない ■子どもが意見を言える場がない ■子どもが集まる場が少ない ■子どもが遊べる場所が少ない
■浮立の指導者が減っている ■若手のなり手がない ■自治会、老人会未加入が多い ■役員の負担が大きい

▶分野別の将来像

■交流、ふれあい、助け合いのまち ～家族の絆から土井首の絆へ～ ■みんなが笑顔で気軽に話せ、 人とのつながりを大切にすまち
■自然を守り、育てつくるまち ■自然を活かしたまちづくり
■友好(ゆうこう)の里、土井首
■安全で便利な活気のあるまち ■笑顔あふれる寄“理想”まち (よりそう)
■明るくつながり合って、活気ある 安全・安心なまち ■防災意識が高い住民が集まる まち
■地域が育て、子どもが楽しく、 笑顔が絶えないまち ■子どもを地域で育てるまち
■みんなで助け合い、支え合う活気 (若人) あるまち土井首 ■みんなの英智で“タスキ”をつなぐ 土井首

▶既存の取組み (一部抜粋)

■どいのくび祭り ■土井首くんち ■鬼火 ■どいのくび健康マラソン大会
■自然を守る活動 ■ホタルが育つ環境づくり ■鳥獣対策
■オリーブ、ゆうこうの植樹 ■ゆうこうの樹・保存数を調査 ■現状分析
■警察との連携、協力 ■クリーンアップ大作戦 ■高齢者サロン ■健康づくり講座
■危険個所の把握 ■地域の方とのコミュニケーション ■地域包括支援センターとの連携 ■関係機関との連絡会議 ■給食サービス
■お遊び教室 ■放課後子ども教室 ■子どもの表彰(青少年健全育成 大会)
■ペーロン ■伝統継承 ■幼少より地域を愛する心の醸成 ■育友会から育成協へ移行する流れ

▶新たに考えられる取組み (一部抜粋)

■一生安心して暮らせるまちづくり ■ふれあい祭り ■子どもが企画するイベント ■ペットを通したつながりづくり
■川祭り ■ホタル祭り ■実りある山づくり ■里山づくり
■新たな道の名称を「ゆうこう道路」と する ■新商品の開発、販売
■生活に関わる広報・PRを考える ■リサイクル活動の活性化 ■各家庭で花植えし、1鉢のまちづくり ■交通安全と健康づくりの推進
■自治会ごとに危険個所のマップを作る ■地域全体で婦人防火クラブの結成 ■あいさつ通りを設置、標語の募集 ■地域の事業所との連携(防災・福祉)
■幼児から大人まで参加できる意見 発表会 ■子ども部会の発足 ■子どもが活躍できる場 ■南部市民センター秋フェスタとコラボ
■伝統文化親子教室 ■女性ペーロン部の結成 ■若い人が集まりやすい部会を作る ■土曜学習

※7分野を3部会に整理
※きずな分野は、全体に
係ってくるものとして整理

自然を活かした
ふるさとづくり
部会

元気で安心な
暮らしづくり
部会

次世代へつながる
人づくり
部会

子ども会議
青年会議

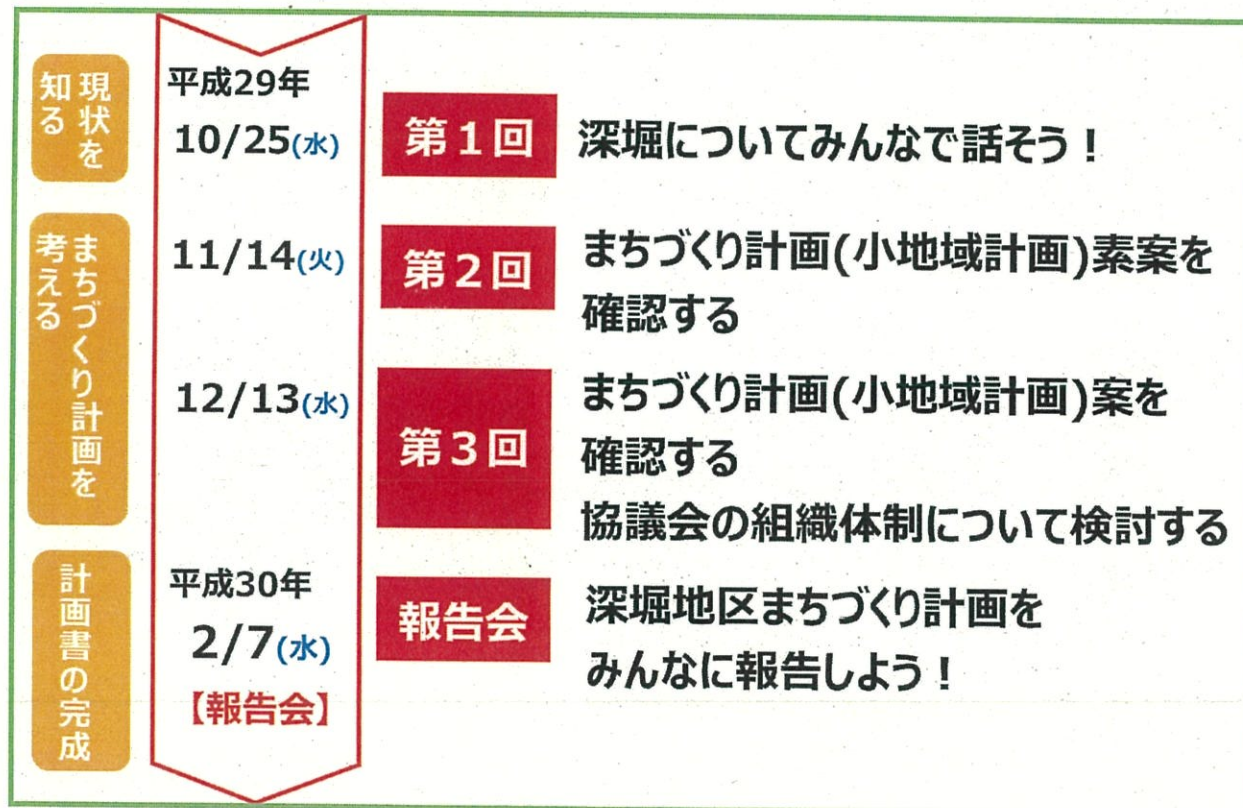
▶ この計画について

平成24年度に社協深堀支部で策定した「やってみゅ〜か！わがまちプラン」を基に、人口減少や少子化・高齢化の流れが進む中、10年後、20年後も深堀地区が暮らしやすいまちであり続けるため、これからの将来、様々な課題をどう解決していくのかを皆で考え、方向性を合わせていくために「まちづくり計画」を策定しました。

この計画には「深堀の未来を語る会」の話し合いで出されたアイデアを、抜粋して掲載しております。今後はこの計画を基に、具体的な取り組みを皆で考えていきます。

また、取り組みを実際に行う際は、中心となる団体を交代しながら活動していきます。最後に、このまちづくり計画は、必要に応じて見直しを行っていきます。

▶ 計画策定の流れ



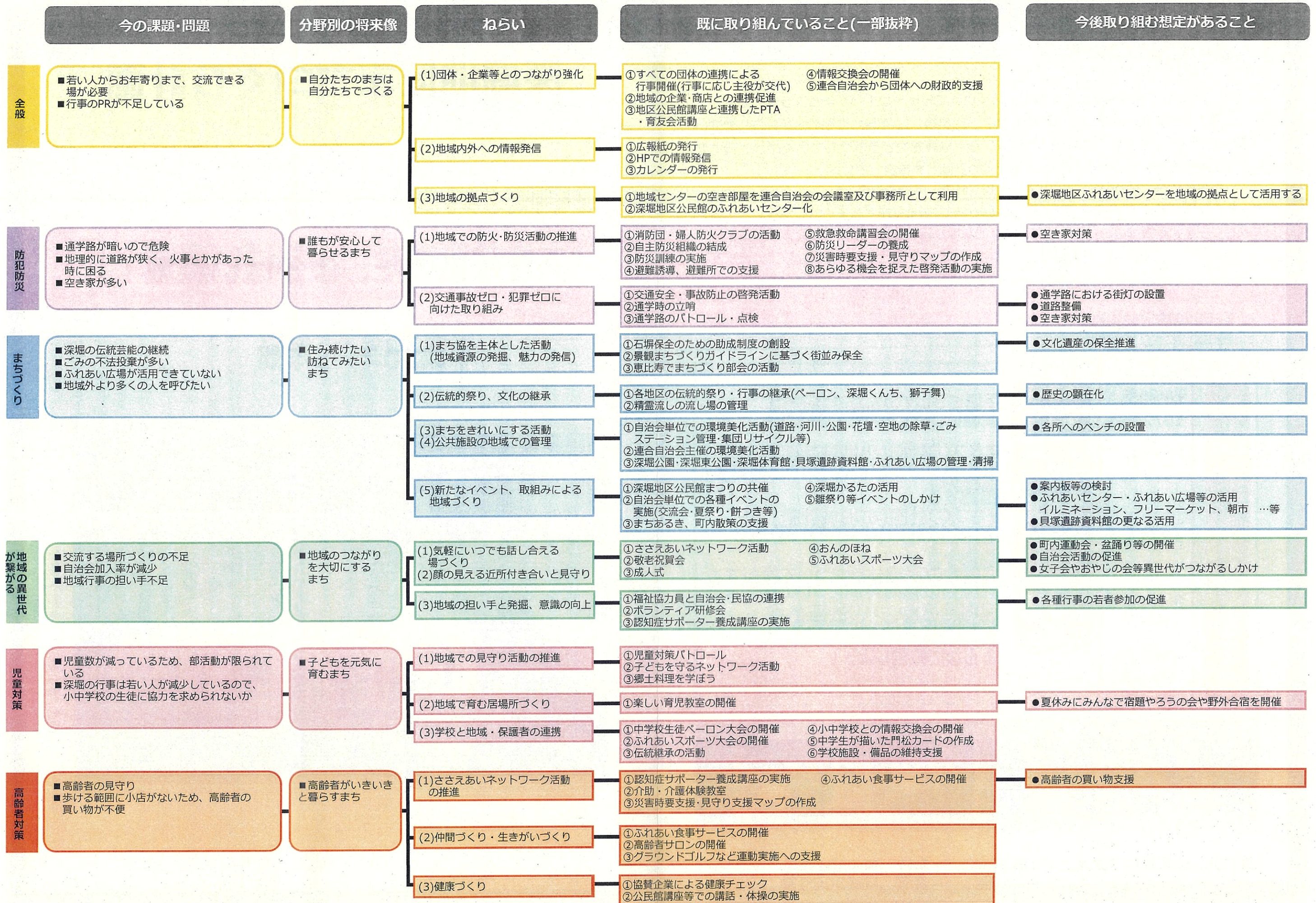
深堀地区まちづくり計画

深堀地区のめざす将来像

「大きな家族だ、よかばい深堀！」

平成30年~5年間





茂木校区まちづくり計画書

本編



撮影：愛谷 理徳

注)この写真は、今回のまちづくり計画書をつくる中で出てきたアイデアから始まった第1回フォトコンテストの審査員特別賞の作品です。この写真以外にも本計画書の中にはフォトコンテストに出展された写真が使用されています。

平成28年11月

茂木コミュニティ連絡協議会

～ 目次 ～

はじめに…

- 1 茂木校区の概要 P 3
- 2 茂木校区の現状 P 4
- 3 茂木校区の宝 P 5
- 4 茂木校区の課題 P 6
- 5 目指すべき将来像 P 7
- 6 茂木校区のまちづくり基本理念 P 9
- 7 茂木校区の事業の提案 P10
- 8 茂木コミュニティ連絡協議会推進体制 P18
- 9 これまでの経緯 P20

はじめに…

人口減少、少子高齢化が進む茂木において、地域住民や各種団体、企業など地域に関わる全ての人と協働して、茂木校区のまちづくりを進めていく必要があると考えています。

茂木校区のまちづくりの方向性を示し、計画的に進めていくために、茂木校区まちづくり計画を策定しました。この「まちづくり計画」は、すべての住民に共通意識を持っていただくための計画とするため、住民の意見を反映し、必要に応じて見直しを行っていきます。

1 茂木校区の概要

(1) 茂木の歴史

茂木は、1580年に大村藩からイエズス会に寄進され、その後、豊臣秀吉が教会から没収した後、島原領を経て天領となり幕末を迎えました。明治になって陸上交通が整備されるまでは、貨物の輸送には船が用いられており、長崎と島原、天草、熊本、鹿児島を結ぶ海上交通の要衝として栄えました。

(2) 地名の起源

その昔、神功皇后が朝鮮征伐の帰途、名もない浦に舟を入れられて裳（も）をお着けになったので裳着（もぎ）の地名が起り、その後読みやすいように「茂木」となったといわれています。

(3) 茂木校区の今

茂木校区は長崎市を中心市街地に隣接し橘湾を望む風光明媚な地にあります。古くから農漁村として発展を続け、昭和37年に長崎市に編入。“茂木びわ”をはじめとする農業、“ハモ”“アマダイ”などで有名な漁業、そしてこれらの新鮮な海の幸山の幸を生かした料亭などを中心に、旬の美味を求める多くの人たちの賑わいの中で発展を続けてきました。加えて熊本県苓北町とのフェリー就航により長崎の東の玄関口としての役割も果たすなど長崎経済の一翼を担ってきました。現在はフェリーにかわり高速船が運航しています。

- ・ 茂木地区の特産品 びわ、桃、梨、みかん、デコポン、いちご、筍、花卉類
ハモ、ヒラメ、アマダイ、クルマエビ
- ・ 市指定天然記念物 宮摺山ン神の社叢、竈（かまど）神社の大クス
- ・ 市指定無形民俗文化財 北浦の俵かたげ・獅子踊り
- ・ 県指定天然記念物 茂木植物化石層

2 茂木校区の現状

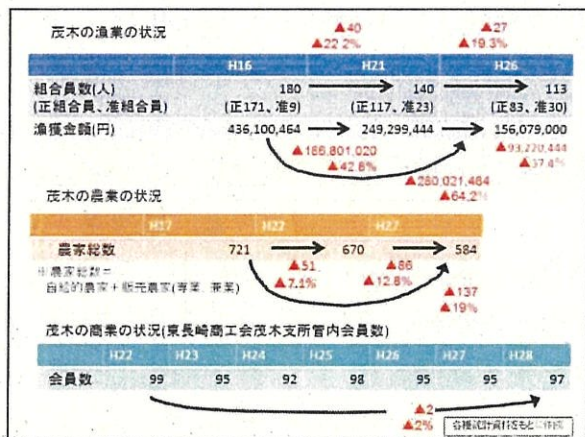
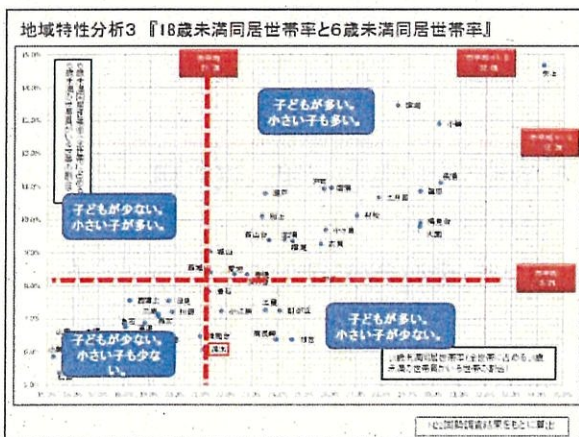
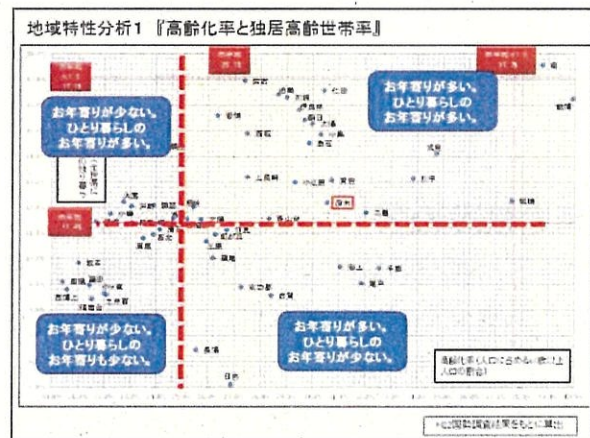
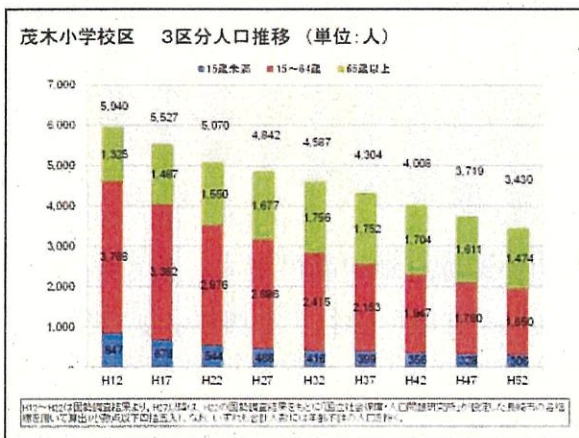
茂木校区には、現在、2,162世帯、4,706人(平成28年8月末現在。長崎市住民基本台帳)が住んでいます。一般的に人口減少、少子高齢化と言われていますが、茂木の現状も平成12年から平成22年の10年間で、人口は870人、14.6%減少し、そのうち、子どもは303人、35.8%が減少、高齢者は225人、17%増加と、人口減少、少子高齢化が進んできており、今後もその状況は進んでいく予測がされています。

長崎市内の他地区と比較した場合の茂木地区の特徴としては、高齢化は進んでいるものの、単身世帯はそれほど多くなく、少子化については、それほど進んでいるわけではないが、小さい子どもが少ないので、これから一気に進む可能性があります。

また、古くから漁業、農業を主要な産業として発展してきましたが、近年従事者の減少が著しく、漁業については、平成16年から平成26年にかけて67人、37%、農業については、平成17年から平成27年にかけて137世帯、19%が減少しており、漁業、農業ともに担い手の確保が大きな課題となっています。

「茂木の現状」

- ▶お年寄りは多いけど、一人暮らしは少ない
- ▶子どもが少ないわけではないが、小さい子どもが少ない
- ▶漁業、農業は従事者減少。商業はほぼ横ばい



3 茂木校区の宝

(1)自然

- 宮摺海岸から見る朝日
- 美しい橘湾の朝景色
- 潮見崎観音から見える布引の月
- 星空がきれい
- 若菜川(ホタルが飛び、うなぎが取れる)
- 若菜川の下流にあるせんだんの木
- 竈神社の大クス
- 弁天山
- 北浦のドンク岩
- 宮摺海岸●宮摺の黒瀬島(プチ軍艦島)
- 空気がきれい
- 温暖な気候
- 100本の桜
- 田上～茂木の菜の花

(2)歴史・文化

- 昔からのまちなみ(古い蔵、レンガ作りの壁、趣のある古民家)
- 茂木港の船が並んでいる風景
- 茂木街道
- 色々な化石がある化石層
- 茂木弁『ちんじん』
- 裳着神社
- 竈神社の初日の出の風習
- 料亭二見の石垣
- 古くからの歴史(長崎の奥座敷)

(3)人

- 人情が厚い
- つながりが強い
- 素直で元気な子ども
- 治安がいい
- 住民がやさしい
- 元気なお年寄りが多い
- 近所に憩いの場を提供している田賀農まち子さん
- 竹細工が得意な鳥越肉屋さん

(4)地域活動

- 地域の団結力が強い
- 美しい町づくりの取り組み
- 環境保全活動(EM団子)
- 様々なイベント(ふれあいまつり/茂木くんち/びわまつり/ペーロン大会)

(5)食べ物

- 海のもの(クルマエビ/魚/すり身/山清の刺身定食)
- 山のもの(ビワ/みかん/梨/桃/いちご/たけのこ)
- オロンのパン
- 一口香
- 料亭の料理
- 田口天ぷら屋の天ぷら
- ぶらぶらハウス
- 水がおいしい

4 茂木校区の課題

(1)人口が減り活気がなくなる(地域活動や交流などに関すること)

- 地域を支える自治会、民生委員などのなり手がなくなるだろう
- 地域行事ができなくなるだろう
- 空き家、空き地が増え、限界集落になる地区が出てくるだろう
- バスの便が減少するなど交通が不便になるだろう
- 若者が減り、つまらないまちになるだろう

(2)減りゆく産業(産業に関すること)

- 漁師がいなくなり、漁業が衰退するだろう
- 農業者が減り、耕作放棄地が増えるだろう
- 『茂木びわ』がなくなっているかもしれない
- 商店が少なくなり、買い物が不自由になるだろう

(3)子どもが減る(子育てや青少年の育成に関すること)

- 保育所、小学校、中学校が統廃合になるかもしれない
- 地域行事への子どもの参加がなくなるかもしれない

(4)お年寄りが増える(福祉や健康に関すること)

- 高齢者の行方不明が増えるかもしれない
- 高齢者の生活困難が浮き彫りになるかもしれない
- 生活保護世帯が増えるかもしれない

(5)地域の荒廃(生活環境や地域の安全安心に関すること)

- ゴミが掃除されず、町がよごれていくかもしれない
- 猫、カラス、イノシシが増えるかもしれない



第1回フォトコンテスト出展作品 撮影：染浦 寿昭

5 目指すべき将来像

(1) 地域活動や地域振興、交流・企画などに関すること

① 地域活動について

- 後継者が増えるまちにしたい
- 活気ある町にしたい
- 茂木はよかねと言われるようにしたい
- 他の地域からまねされるような、皆にあこがれられるまちづくりをする
 - ・ 色んなスポーツができるまち
 - ・ みんなが集まる行事が継続するまち
 - ・ 茂木の自然環境を維持し、市民が遊べるまち
- 「いなか」を逆手にとった町に

② 過疎化について

- 茂木の人ではなくても住みやすいまちづくりをする
 - ・ UIターンの人、新婚世帯、子沢山世帯、若い人
- 空き家、空き地がなくなっている
- 住むところを増やして、人を呼べるまち

③ 交通について

- 交通アクセスが良くなり、住みたい人が増える
- 子どもが安全に登校できるように道ができています

④ 交流について

- よその人と交流し、人の流れが絶えないまち
- 娯楽があり、住んでいる人が楽しい町



第1回フォトコンテスト出展作品 撮影：田村 裕子

(2) 産業の振興に関すること

① 漁業について

- 橘湾を宝の海にしたい
- 漁師が自分で魚を売る様になる

② 農業について

- 農作物がたくさんとれる
- 茂木びわが宮崎マンゴーより有名になる
- 休耕地が活用されている
 - ・ 農業をしたい人が畑を借りられる



第1回フォトコンテスト出展作品 撮影：中 紀光

③商業について

- 色々な物が買え、買い物に来たくなる
- 昔の銀座通りが復活している

④漁業、農業、商業に共通すること

- 若い後継者がいる
- 地元の産物がいつでも買える地産地消のまち
 - ・道の駅、海の駅、まちの駅
- 漁業や農業の体験ができる茂木
- 特産品をみんなで作り、販売する
- 皆で力を合せ新しい産業を生み出す
 - ・特産品を皆で作る、販売する
- 1人1人が株主のように金をかせぐ
- 年をとっても働ける
- 地域の柱となる産業がある



第1回フォトコンテスト出展作品 撮影：城下 かずみ



第1回フォトコンテスト出展作品 撮影：茶谷 敏子

(3)子育てや青少年育成に関すること

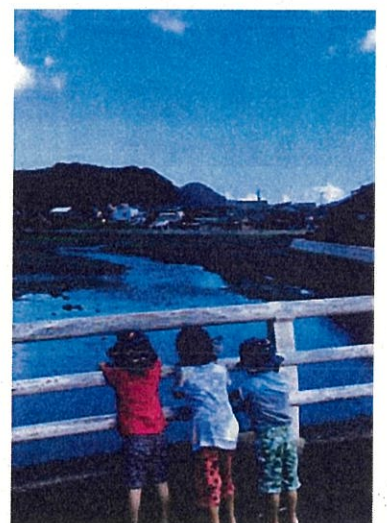
- 安心して子育てでき、子どもの声であふれる茂木にしたい
 - ・子育てのモデル地区に認定される
 - ・たくさん子どもが、お年寄りと仲良くする
- 幼稚園を復活させたい
- 子どもたちが夢をもてる町
- 子どもたちが遊びに来れるまちづくり
- 茂木の子どもと全国の子どもが交流

(4)福祉や健康に関すること

- 高齢者が安心して暮らせるように利便性がよく、安全・安心な優しいまち
- お年寄りが活気づき、活躍できるまち
- お年寄りが元気で楽しく過ごせるまち

(5)生活環境や地域の安全安心に関すること

- ゴミがないきれいな茂木
- 茂木の自然環境を維持し、美しい景観の茂木
- 大雨が降っても浸水しない町



第1回フォトコンテスト出展作品 撮影：池山 賢太郎

6 茂木校区のまちづくり基本理念

朝日が昇る 活気と笑顔あふれる うまかMOGI ～こんな近くに訪れたいまちがある～

【基本理念とは】

人がやることに完璧はありません。時には迷ったり、うまくいかないこともあります。理念とは、そんな時に拠り所となる原点の思いです。

何のためにまちづくりを行うのか、10年後の目指す姿は何かなど根本的な目的を明確にして、茂木に住むすべての住民に共感してもらえるような基本理念(キャッチフレーズ)をみんなで考えました。



【キーワード解説】

▶朝日が昇る・・・

橘湾から昇る朝日は、中学校の校歌にも使われているほどの茂木校区の住民が誇りに思う風景。そのような風景をこれからも大事にしていきたい。

▶活気と笑顔あふれる・・・

茂木はこれまで行事などを通じて活気あるまちづくりを行ってきた。これからもそのように活気があふれ、さらに、住民の笑顔であふれるまちにしていきたい。

▶うまか・・・

茂木にはおいしいものがたくさんある。地域内外にPRし、それを活かしたまちづくりを行っていききたい。

▶こんなに近くに訪れたいまちがある・・・

茂木は長崎市中心部から車で15分程度と比較的近い場所にある。中心部から近いことをPRし、茂木の魅力に磨きをかけることで、多くの人を呼び込んでいきたい。

7 茂木校区の事業の提案

次の事業は、茂木地区の特徴をさらに伸ばす事業、あるいは地域の課題を解決し、目指すべき将来像に導くための事業として、計画書策定の経過の中で出された意見を基に検討したものです。大きく分けて、11ページの5つに分類されます。それぞれの分野の事業内容については、10ページから17ページに記載のとおりです。

今後、実際に取り組むべき事業についてさらに検討し、住民への説明、賛同を得たうえで可能なものから実施していきます。

(1) 地域活動や地域振興、交流・企画などに関すること

	① お金も時間もかからない	② お金はかからないが時間がかかる
① 地域活動について	<ul style="list-style-type: none"> ●人が集まるイベント、まつりを企画する <ul style="list-style-type: none"> ・歴史の学校in茂木 ・歴史ツアー+食べあるき ・体験型イベント ●茂木の魅力や情報を内外にPRする <ul style="list-style-type: none"> ・SNS(Facebook、twitter、Instaglam)、情報誌、メディア等を活用 ・ミス茂木を選ぶ ・写真コンテストを開催する ●地域の拠点をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・事務所を開設する 	<ul style="list-style-type: none"> ●人が集まるイベント、まつりを企画する <ul style="list-style-type: none"> ・屋台村、テント村 ・なんでもギネスに挑戦 ・食のイベント ・ウォーキング大会(自然体験、季節、八十八か所) ・夜のイベント
② 過疎化対策について		<ul style="list-style-type: none"> ●空き地を活用する <ul style="list-style-type: none"> ・土地を全国に無償で貸し出す ・家を建てる条件を有利にする ●空き地、空き家の活用について考える <ul style="list-style-type: none"> ・地主が話し合う場、地主さんに相談する場、活用案を考える場をつくる

◆ これからの茂木校区の事業

- (1) 地域活動や地域振興、交流・企画などに関すること
 - ① 地域活動について
 - ② 過疎化対策について
 - ③ 交通の整備について
 - ④ 交流について
- (2) 産業の振興に関すること
 - ① 漁業について
 - ② 農業について
 - ③ 商業について
 - ④ 漁業、農業、商業に共通することについて
- (3) 子育てや青少年育成に関すること
 - ① 学校教育外について
 - ② 学校教育について
- (4) 福祉や健康に関すること
 - ① 住民の福祉について
 - ② 住民の健康づくりについて
- (5) 生活環境や地域の安全安心に関すること
 - ① 生活環境を整えることについて
 - ② 安全安心な茂木をつくることについて
 - ③ 災害に強い茂木をつくることについて

③ お金はかかるが、時間はかからない

④ お金も時間もかかる

- 人が集まるイベント、まつりを企画する
 - ・ 茂木「三大奇岩まつり」(どんく岩、立岩、宮摺の瀬)
 - ・ 季節に合わせたイベント(月見、盆踊等)
 - ・ 有名人を呼ぶ
 - ・ 力士をふれあいまつりに毎年呼ぶ
 - ・ ミニトライアスロン大会
 - ・ 花火大会
- 茂木の魅力や情報を内外にPRする
 - ・ ゆるキャラをつくる

- 人が集まるイベント、まつりを企画する
 - ・ 釣り堀をつくり、釣り大会
- 地域の拠点をつくる
 - ・ 大型ふれセンを建てる

- 独身者、若い子の婚活を行う
 - ・ 婚活のテレビ番組を呼ぶために手紙を出す
 - ・ 娘に婿を茂木に連れてこさせる
- 子どもを増やす取り組みをする
 - ・ 子どもを6人以上生むと100万円もらえる
- 空き家を活用する
 - ・ 「いこいの室」をつくる
 - ・ 実態調査をし、空き家情報を公開する
 - ・ 移住希望者の体験住宅にする
 - ・ 若者、子育て世帯に低額で貸し出す
 - ・ 地域の集いの場にする(お年寄り・食事会・自治会など)

- 移住者を増やす取り組みをする
 - ・ 移住者向けツアーを行う
 - ・ 意欲がある人を呼び込む
 - ・ 移住希望者と地元のいい人を会わせる仕組みをつくる
 - ・ 移住体験の仕組みをつくる
- 生活しやすい環境を整備する
 - ・ 団地、マンション、市営住宅等を造る
- 空き地を活用する
 - ・ マンション、アパートをつくる
 - ・ プールをつくる
 - ・ 空き地を整備して住宅地を増やす
 - ・ 駐車場にする
 - ・ 農振地域、市街化調整地域をなくし、売却できるようにする

		① お金も時間もかからない	② お金はかからないが時間がかかる
③ 交通の整備 プロジェクト		<ul style="list-style-type: none"> ●公共交通機関の整備について、市・県に陳情し、実現に向けて協議する <ul style="list-style-type: none"> ・バスの本数を増やす 	
④ 交流 プロジェクト		<ul style="list-style-type: none"> ●地域内での交流を図る <ul style="list-style-type: none"> ・地元の人が地元の良さを知るツアーを実施 ●地域外との交流を図る <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行のモデルコースをつくる(ペーロン体験&イルカウォッチング&すりみづくり) ・外国人と交流する(ホームステイの受入、英会話教室を開く) ・茂木さるくを充実させる(まち歩きマップ <ul style="list-style-type: none"> ・ドライブマップを作成、さるくの事務所を作る) ・天草との交流、協力を強める ・観光発展の為、標識を充実する(子どもが喜ぶ案内板をたくさん設置する) 	

(2) 産業の振興に関すること

		① お金も時間もかからない	② お金はかからないが時間がかかる
① 漁業 プロジェクト		<ul style="list-style-type: none"> ●稚魚放流を行う ●漁礁をつくる ●水産試験場と連携する ●リヤカーを集めて色を塗って魚を売る ●橋湾を宝の海にするために、学生を巻き込んで、橋湾復興コンペを開催 ●魚の料理教室や料理コンテストを開催 	
② 農業 プロジェクト		<ul style="list-style-type: none"> ●果物の新商品を考える ●びわの品種改良や加工品を考案する 	<ul style="list-style-type: none"> ●皆で収穫し、販売する仕組みをつくる ●びわのオーナー制を導入する ●休耕地を活用する <ul style="list-style-type: none"> ・レンタル農園、観光農園を開く ・牧場を作る ・新たな茂木の特売品を栽培する

③ お金はかかるが、時間はかからない	④ お金も時間もかかる
<ul style="list-style-type: none"> ● 国道沿いの竹を伐採する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路整備について、大きな会をつくり、市・県に陳情し、実現に向けて協議する <ul style="list-style-type: none"> ・ 茂木バイパス、道路拡張など ● コミュニティバスを運営する
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域外との交流を図る <ul style="list-style-type: none"> ・ 民泊をする ・ 外国人と交流する(外国人向け看板、パンフを作成する) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域内での交流を図る <ul style="list-style-type: none"> ・ 交流できるような広い運動公園を設置する ● 地域外との交流を図る <ul style="list-style-type: none"> ・ 景観を生かし都会からの富裕層を呼ぶ(地形がギリシャに似ているので、茂木の建物を白にする) ・ 外国人と交流する(外国船が入るように港を改修する) ・ 海辺を活用し、夏の茂木に集客する(全て砂浜にして海水浴場に、マリンアクティビティなど) ・ 茂木さるくを充実させる(人力車で茂木を案内する)

③ お金はかかるが、時間はかからない	④ お金も時間もかかる
	<ul style="list-style-type: none"> ● 養殖場やいけすを作り養殖する
	<ul style="list-style-type: none"> ● 農地の道路を整備する

		① お金も時間もかからない	② お金はかからないが時間がかかる
③ 商業について	<ul style="list-style-type: none"> ●人が集まるカフェ、イベント会場を作る <ul style="list-style-type: none"> ・町家、蔵を活用 ・茂木のスイーツを出す 		
共通事項として ④ 漁業、農業、商業に	<ul style="list-style-type: none"> ●県と市とフェリー乗り場などの箱モノを活かす話を始める ●販路拡大を行う <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの直営店 ・テント市 ●グリーンツーリズムを拡大する <ul style="list-style-type: none"> ・茂木の食べ物さるく ・パン、一口香作りの体験 ・市内の小中学生に漁業、農業体験してもらう 		

(3) 子育てや青少年育成に関すること

		① お金も時間もかからない	② お金はかからないが時間がかかる
① 学校教育外について	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもとお年寄りの交流をする <ul style="list-style-type: none"> ・年配の方から子どもたちへ遊びの伝達 ●子どものおもてなし事業隊をつくる ●子どもがイベントを企画する ●子どもが遊べる場所を確保する <ul style="list-style-type: none"> ・公民館を活用 ・プレイパークをつくる ●EM団子づくりを行う 		
② 学校教育外	<ul style="list-style-type: none"> ●特色ある学校にする <ul style="list-style-type: none"> ・小、中学校の交流をする ●小、中学校の部活動を絞る 	<ul style="list-style-type: none"> ●特色ある学校にする <ul style="list-style-type: none"> ・特定のスポーツが強い学校を目指す 	

③ お金はかかるが、時間はかからない

④ お金も時間もかかる

	<ul style="list-style-type: none"> ● 選果場を住・食・遊の場所に変える ● 大型商業施設を作る ● 朝市を毎日開催する ● 店を増やす(コピーをしてくれる店) ● スーパーやコンビニを呼び込む <ul style="list-style-type: none"> ・ 出資を募り、集落コンビニをつくる ● 移動販売をしてもらう ● 安定した雇用の創出 ● 人が集まるカフェ、イベント会場を作る <ul style="list-style-type: none"> ・ 海の家をきれいにして活用 ・ 漁師の「かあちゃんの店」をつくる
<ul style="list-style-type: none"> ● 若い後継者をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・ やってみたい人の受け入れ事業 ・ 漁業、農業の教育をする ・ 担い手育成の補助金をつくる ● 販路拡大を行う <ul style="list-style-type: none"> ・ 都心部に売り込む 	<ul style="list-style-type: none"> ● 茂木全体で商品をつくり、販売する ● 漁業、農業の株式会社化を図る ● 漁業、農業の6次産業化を図る ● 販路拡大を行う <ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅 ・ もぎたて市を拡充 ・ アンテナショップ ● 魚、農作物のブランド化に取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと納税を活用

③ お金はかかるが、時間はかからない

④ お金も時間もかかる

<ul style="list-style-type: none"> ● 子ども向けスポーツイベントを開催する ● ペーロンを子どもたちに伝える ● 習い事ができるところをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもとお年寄りの交流をする <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が子どもを安くで預かるサービス(寺子屋、老人小屋)をする ● 子どもが遊べる場所を確保する <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園を増やす ● 小、中の寺子屋をつくる
<ul style="list-style-type: none"> ● 特色ある学校にする <ul style="list-style-type: none"> ・ すごい教師を呼ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 特色ある学校にする <ul style="list-style-type: none"> ・ 小、中、高一貫校にする ・ 進学校を誘致する ・ 眺めが良いきれいな学校を作る ・ 学校の制服を有名な芸能人にデザインしてもらう ・ 幼、小、中、介護施設合同のビルを建設 ● 特色ある保育園、認定こども園にする

(4) 福祉や健康に関すること

	① お金も時間もかからない	② お金はかからないが時間がかかる
① 住民の福祉について	<ul style="list-style-type: none"> ● まちの見守りネットワークを構築する <ul style="list-style-type: none"> ・ 声かけ/挨拶をする ● 高齢者と子どもの交流をする <ul style="list-style-type: none"> ・ お年寄りが子どもを安くで預かるサービス(寺子屋、老人小屋)をする ・ お年寄りが子どもに昔遊びを教える ● 高齢者同士のつながりをつくる <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者のネットワークや大きな団体をつくる ・ 高齢者同士の交流の場(気軽に立ち寄れる場所、ゲーム大会など)をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ● まちの見守りネットワークを構築する <ul style="list-style-type: none"> ・ おじいちゃんおばあちゃん主張大会を開催する
② 住民の健康	<ul style="list-style-type: none"> ● トレッキングチームを作る ● 無料で呼べる体操の先生に来てもらい、地域住民でできるようになる 	

(5) 生活環境や地域の安全安心に関すること

	① お金も時間もかからない	② お金はかからないが時間がかかる
① 生活環境を整える	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境保護のボランティア団体、NPO結成し、PRを行う <ul style="list-style-type: none"> ・ アースの会、愛創会をNPOへ ・ 同じような団体を統合する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 野良猫を減らす <ul style="list-style-type: none"> ・ 猫に無責任なエサを与えず、責任を持って育てるように啓発する ・ 野良猫の去勢処置 ・ 野良猫の生存実態をつかむ
② 安全安心な茂木を	<ul style="list-style-type: none"> ● 声かけ/挨拶をする ● 防犯や見守りの仕組みをつくる ● ごみを無くす <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミのマナーについての啓発 ・ 毎月1回日曜日に子どもから大人まで全員で茂木の清掃をする日を設ける 	
③ 災害に強い茂木を		

③ お金はかかるが、時間はかからない	④ お金も時間もかかる
<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者が生活に困らない交通の便をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り合いタクシーのコースを調べてつくる ● 高齢者の人材バンクを作る <ul style="list-style-type: none"> ・ 特技を生かす ● 高齢者へのアンケートを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家を利用する <ul style="list-style-type: none"> ・ 「いこいの室」をつくる ・ お年寄り、食事会、自治会など地域の集いの場にする
<ul style="list-style-type: none"> ● 健康遊具をつくる ● 健康づくりサークルをつくる 	

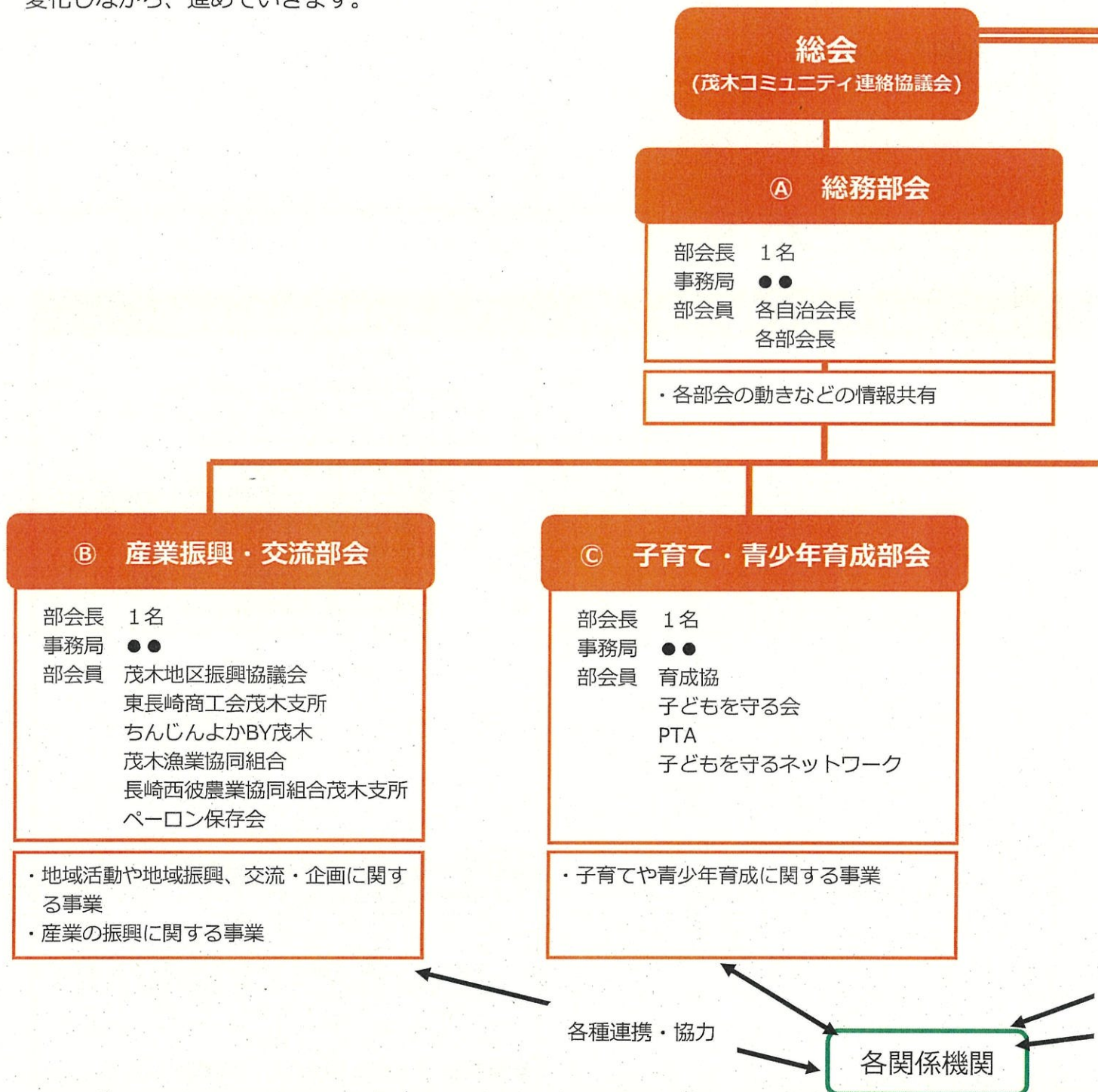
③ お金はかかるが、時間はかからない	④ お金も時間もかかる
	<ul style="list-style-type: none"> ● 当番制で植物を育てる <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども会や団体が共同で育てる ・ 区画を決めて、各地区ごとに取り組む ・ 団体ごとにコーナーをつくる ・ きずな公園の植栽を増やす ・ お花畑をつくる ・ 町中に花木を植える ・ 浜町～茂木に桜並木を作る ● 若菜川を整備する ● 田上～茂木間の道路の美化に取り組む ● 川がある地域の地域間連携を図る
	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内中心部への複数の幹線道路をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時に孤立しない ・ リダンダンシー(※)の確保 ※リダンダンシーとは… 「冗長性」、「余剰」を意味する英語。国土計画上では、自然災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながらないように、予め交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段が用意されている様な性質を示す。(国土交通省HPより) ● 高台(弁天山)を公園化し、避難所にする

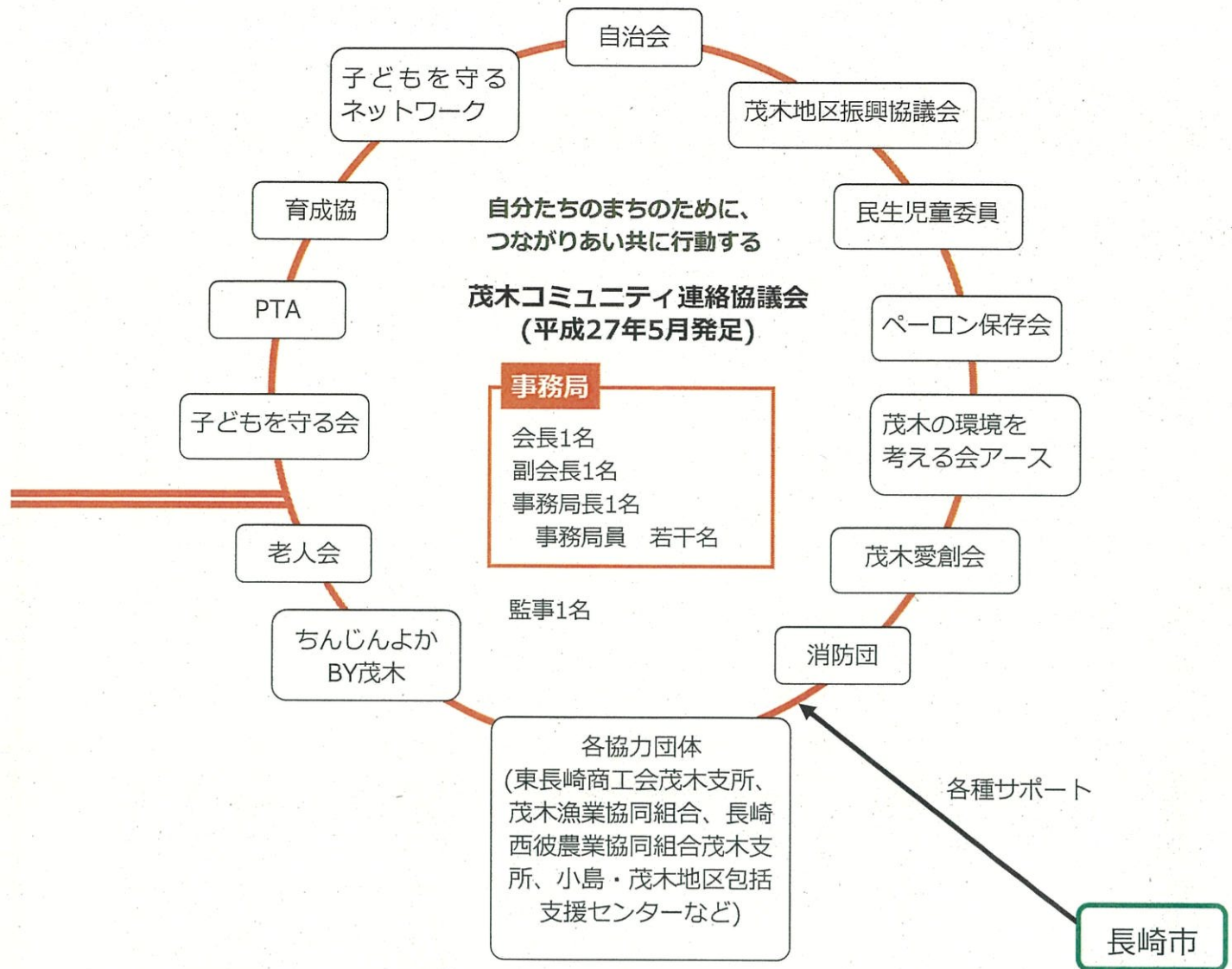
8 茂木コミュニティ連絡協議会推進体制

今後、地域の現状や課題と向き合い、まちづくりをさらに進めていく組織として、茂木コミュニティ連絡協議会に次のとおり部会制を設け、関係機関との連携も図りながら、様々な事業に取り組んでいきます。

各部会には、部会長及び事務局を置き、また、各部会の活動の内容の共有、連携を図るため、各部会長及び自治会長からなる総務部会を設置します。

ただし、この推進体制については、今後の社会情勢、地域の状況、事業展開次第で、柔軟に変化しながら、進めていきます。





④ 福祉・健康部会

- 部会長 1名
- 事務局 ●●
- 部会員 民生児童委員
老人会
自治会
小島・茂木地区包括支援センター

・福祉や健康に関する事業

⑤ 生活環境・安全安心部会

- 部会長 1名
- 事務局 ●●
- 部会員 茂木の環境を考える会アース
茂木愛創会
消防団
自治会
民生児童委員

・生活環境や地域の安全安心に関する事業

各種連携・協力

9 これまでの経緯

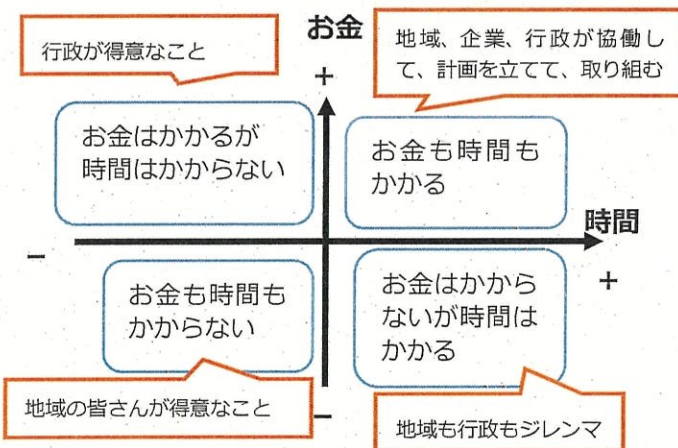
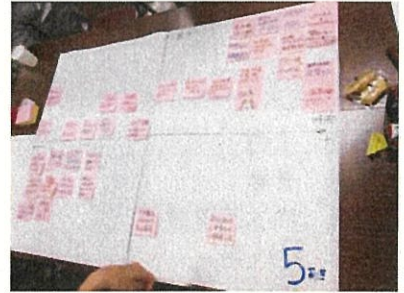
第1回 ワークショップ

日程▶平成28年5月20日(金)
 時間▶午後7時~9時10分
 場所▶茂木地区公民館講堂
 参加▶45人
 テーマ▶地域の宝物をどう生かすか考える

茂木のまちを元気にしたい！という熱い思いをもった地域の皆さんと会議をサポートする市職員らが参加し、にぎやかな会議となりました。

グループに分かれて、茂木の宝やそれを活かす方法について語り合いました。

皆さんから出されたアイデアを時間軸とお金軸で4つの領域に整理して分析してみると、地域ですぐでも取り組めることがたくさんあることがわかりました。また、お金も時間もかかる領域のことは、地域や企業・行政が協働し、長い目で計画的に取り組む必要があるということもわかりました。

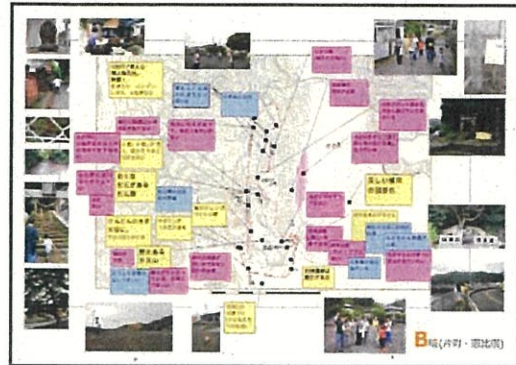


アイデアの特徴▶

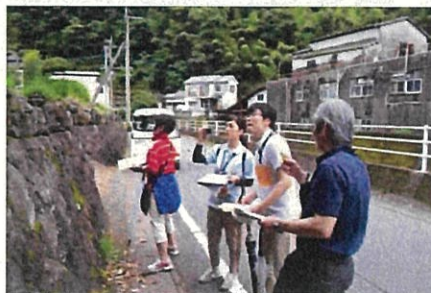
- ・地域が得意とされている「お金も時間もかからない」の領域に関するアイデアが多く、すぐにも実践できそうなものがあった
- ・「お金も時間もかかる」領域のアイデアも多く、地域だけでなく、企業・行政と協働してどう実現していくかという長期的な計画を立てて、取り組んでいく必要がある

第2回 ワークショップ

日程▶平成28年6月19日(日)
時間▶午後2時30分～6時10分
場所▶茂木地区公民館講堂
参加▶45人
テーマ▶まちを歩き、まちを知る



茂木のまちを知るために、参加者でまち歩きを行いました。
実際にまちを歩くことで、普段見過ごしているまちの宝をより多く発見することができました。

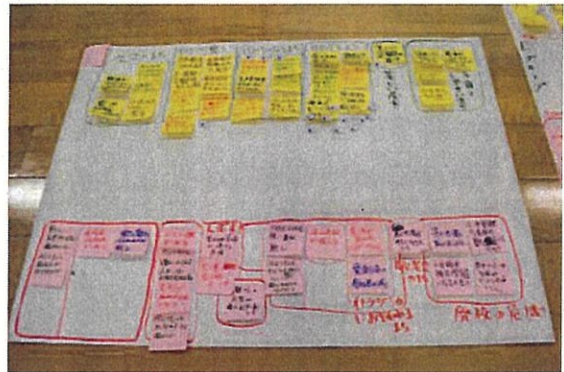


まちを歩いて「大切にしたいなあ」「いまいちだなあ」と感じたもの・場所などについて各班で意見を出し合い、地図に落とし、見える化しました。



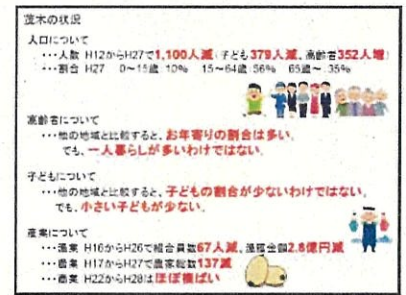
第3回 ワークショップ

日程▶平成28年7月20日(水)
 時間▶午後7時～9時10分
 場所▶茂木地区公民館講堂
 参加▶70人
 テーマ▶これからの茂木を考える



長崎市の統計資料を基に、茂木の人口動向や産業構造の変化等、これからの状況について、長崎市地域コミュニティ推進室から説明していただき、茂木の状況をみんなで共有しました。

- 《茂木の現状》
- ・お年寄りが多いけど、一人暮らしは少ない
 - ・子どもが少ないわけではないが、小さい子どもが少ない
 - ・漁業、農業は従事者減少。商業はほぼ横ばい



説明のあと、このままなら茂木はどうなるのか（成行きの将来）、将来はどんな茂木にしていきたいのか、どんな茂木に住みたいのか（可能的将来）ということを見解交換やワークショップを交えて考えました。



第4回 ワークショップ

日程▶平成28年8月24日(水)

時間▶午後7時～9時10分

場所▶茂木地区公民館講堂

参加▶64人

テーマ▶未来への手立てを考える



第4回は、第3回の話をもとに話し合いを進めていくため、また、今回から新たに参加した方もいたので、前回の話し合いで、どのような話があったのかを班ごとにふりかえりました。また、会場には、これまでの話し合いで出た茂木のいいものを活かすアイデアの一覧表や大切にしたいと思うものが記載された茂木の地図データなどを貼りだし、第1回から第3回でどのような話し合いがなされたのかを共有しました。



ふりかえりの後、「自分が住みたいと思う茂木にするためにはどうしたらいいか」「そのためには何が必要か」という未来への手立てをみんなで考えました。



第5回 ワークショップ

日程▶平成28年9月21日(水)

時間▶午後7時～9時

場所▶茂木地区公民館講堂

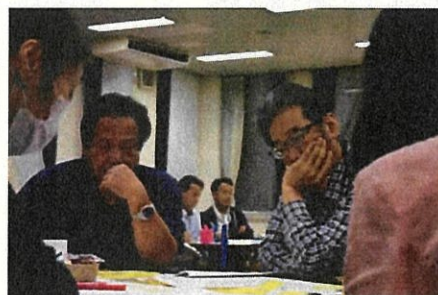
参加▶41人

テーマ▶未来の目指す姿を決める

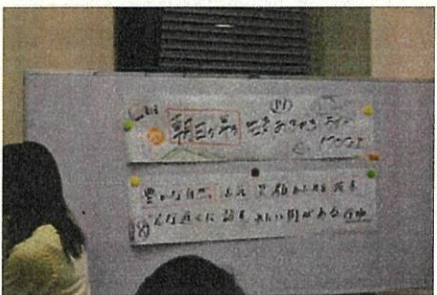
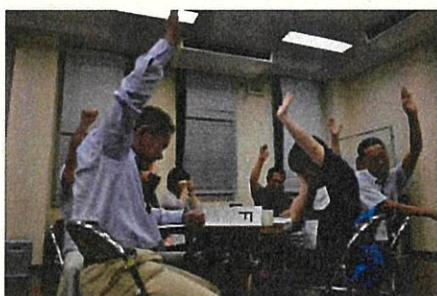


これまで話し合ってきたことをベースに、「10年後の茂木のまちづくり理念、目指す姿(キャッチフレーズ)」をみんなで考え、みんなで決めました。

まちづくりの理念(キャッチフレーズ)とはどういうものか、なぜ考える必要があるのかを共有し、これまでの報告書や他地区のキャッチフレーズ、民間企業のキャッチフレーズなどを参考にしながら、みんなで考えました。



各班で考えたキャッチフレーズの中から投票で2つ選び、最終的にそれぞれのキャッチフレーズの共通点やいいところをうまく組み合わせ、1つのキャッチフレーズを作り上げました。



第6回 ワークショップ

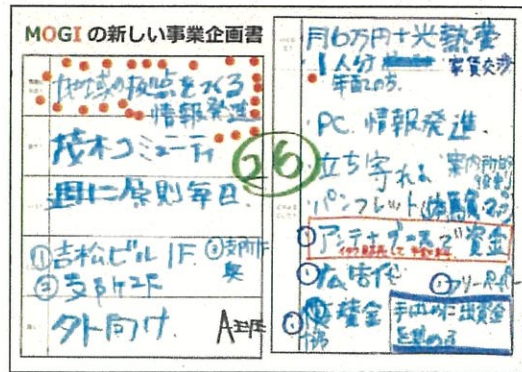
日程▶平成28年10月19日(水)

時間▶午後7時～9時10分

場所▶茂木地区公民館講堂

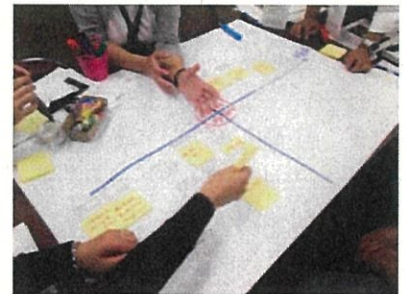
参加▶53人

テーマ▶まちづくり計画書をつくる



これまで話し合った内容を踏まえて作成した「まちづくり計画書」のたたき台を基に、みんなで計画書を作り上げました。

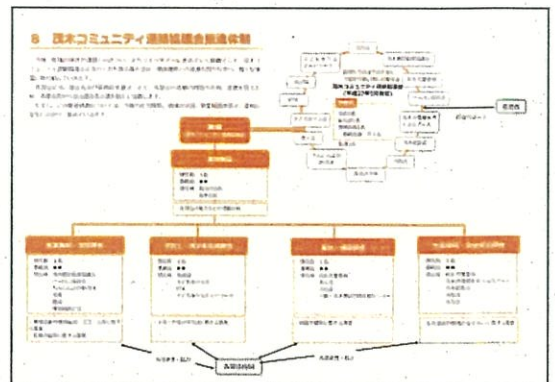
これまで出てきた事業のアイデアについて、どれが取り組みやすいのかをみんなで共有するために、これまで出てきた全部の事業をカードにして、縦軸をお金、横軸を時間の表に整理してみました。



整理した後、自分たちで来年実際にやってみたいと思う事業を1つ選び、各班で事業企画書を作成しました。「誰が」「いつ」「どこで」「誰に対して」「どのようにして」実施するのか、そして、実施には「いくら」かかるのかなど具体性のある企画書を作りました。



最後に、まちづくり計画書の案、計画を実現していくための推進体制の案について説明し、参加者からの承認を得ました。



この計画書の策定に参画された方

お名前	所属	お名前	所属
森 茂八郎	茂木校区連合自治会	伊達木 仁一郎	茂木中学校区青少年育成協議会
河平 明久	宮摺自治会	中山 辰也	茂木中学校区青少年育成協議会
城下 季子	新田自治会	榎 玉三	茂木中学校区青少年育成協議会
高橋 貞信	寺下自治会	榎 倫子	茂木中学校区青少年育成協議会
藤本 礼子	茂木町中自治会	山口 正記	茂木中学校区青少年育成協議会
山崎 俊郎	橋口自治会	山口 誠	茂木小学校PTA
藤田 俊典	片町自治会	片山 悠治	茂木小学校PTA
岩永 隆	南川自治会	本多 幸子	茂木小学校PTA
森山 豊明	河内自治会	黒川 こずえ	茂木小学校PTA
竹下 正剛	茂木町西部自治会	田川 雅裕	茂木小学校
徳永 美知尋	転石自治会	江原 芳樹	茂木小学校
三浦 徳明	北浦自治会	池崎 克典	子どもを守る会
荒木 秀寿	北浦自治会	山口 猛司	子どもを守る会
神戸 誠	北浦自治会	城下 勇介	子どもを守る会
山田 勝和	北浦町新生自治会	竹市 保男	茂木中学校
山口 貞行	茂木市営住宅自治会	鈴木 和彦	茂木中学校
城下 伸生	恵比須自治会	久谷 勝彦	茂木中学校PTA
大串 恒文	茂木地区振興協議会	木山 真樹子	茂木中学校PTA
山口 新吉	茂木地区振興協議会	荒木 敬純	茂木中学校PTA
中本 修身	茂木地区振興協議会	泉田 京子	茂木中学校PTA
小林 徳儀	茂木地区振興協議会	橋本 美雪	茂木中学校PTA

(敬称略。順不同)

お名前	所属	お名前	所属
山崎 敏仁	茂木中学校PTA	千崎 茂	老人会(中友会)
草野 千尋	茂木中学校PTA	峰 千晴	ちんじんよかBY茂木
辻 悟	民生委員・児童委員	中崎 光浩	ちんじんよかBY茂木
峰松 里子	民生委員・児童委員	高比良 順子	ちんじんよかBY茂木
野口 敬史	民生委員・児童委員	大島 徹也	ちんじんよかBY茂木
城下 かずみ	民生委員・児童委員	西田 和光	東長崎商工会
山口 政嘉	消防団	山崎 隆浩	東長崎商工会
三浦 学	消防団	池山 実	東長崎商工会
前川 満宏	消防団	坂本 歩	東長崎商工会
新田 明久	ペーロン保存会	浦川 小百合	長崎西彼農業協同組合茂木支所
大串 尚稔	ペーロン保存会	浦川 美奈登	長崎西彼農業協同組合茂木支所
川越 雅代	ペーロン保存会	小林 一久	茂木漁業協同組合
田村 裕子	ペーロン保存会	山下 敏男	茂木漁業協同組合
出口 津與志	茂木の環境を考える会アース	成瀬 宗一郎	小島・茂木地域包括支援センター
森 幹子	茂木の環境を考える会アース	辻田 由貴	小島・茂木地域包括支援センター
池山 耕治	茂木愛創会	藤島 康弘	小島・茂木地域包括支援センター
神田 成郎	茂木愛創会	駒田 鮎美	小島・茂木地域包括支援センター
関戸 善幸	茂木愛創会	犬塚 裕子	小島・茂木地域包括支援センター
西原 健吾	茂木愛創会	岩崎 照夫	個人
池山 賢太郎	ふれあいまつり事務局	大塚 正一	子どもを守るネットワーク

茂木の未来は

みんなで作る。

あなたは、10年後、どんな茂木に住みたいですか？

どんな茂木になってほしいですか？

今回、10年後の未来に向けての「まちづくり計画書」を茂木の住民で策定しました。

茂木を想う住民の、熱い想いのこもった計画書です。

ぜひご一読いただき、一緒に動きましょう！



発行・問い合わせ先▶

茂木コミュニティ連絡協議会事務局

※長崎市役所茂木支所（836-0400）でも可

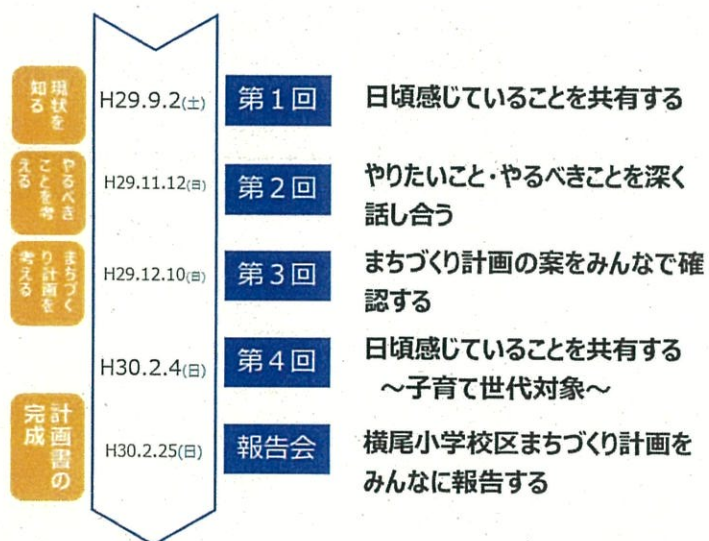
まちづくり計画ができるまで

横尾小学校区では、小・中学生や子育て世代の方、高齢の方など、たくさんの方が集まって『みんなで考える会(※下記掲載)』を平成29年9月～平成30年2月にかけて開催し、まちの未来について話し合ってきました。人口減少や少子化・高齢化など社会の状況は変化しますが、これからも暮らしやすいまちであり続けるために、住民のみなさんの思いをカタチにしたものがこのまちづくり計画です。めざす将来像に向かって、毎年必要な取り組みを考え、実現していけるよう、みなさんで一緒に取り組んでいきましょう！

なお、このまちづくり計画は、必要に応じて見直しを行っていきます。

横尾地区みんなで考える会

～「まちづくり計画」策定のための協議の場～



これまでご参加いただいた団体の皆様

横尾連合自治会、横尾地区ふれあいセンター運営委員会、社会福祉協議会横尾支部、横尾東部自治会、横尾西部自治会、横尾南部自治会、横尾北部自治会、横尾さつき自治会、横尾なづみ自治会、滑石北自治会、滑石公務員アパート第二自治会、ボンヌール滑石Ⅲ自治会、横尾中学校区青少年育成協議会、横尾小学校区子どもを守る連合会、横尾小学校区子どもを守るネットワーク、横尾小学校、横尾中学校、長崎大学、横尾小学校PTA、横尾中学校PTA、横尾地区民生委員・児童委員協議会、横尾地区保護司会、横尾地区高齢者見守りネットワーク、横尾だんじり保存会、北寿会、東寿会、弥生会、なづみ会、横尾グラウンドゴルフ会、さわやかグラウンドゴルフ会、横尾ゲートボール会、滑石センター保育園、みやま幼稚園、横尾あじさいクラブ、滑石郵便局、長崎外国語大学、平成会、恵愛会山の木、滑石・横尾地域包括支援センター、北多機関型地域包括支援センター

横尾小学校区 まちづくり計画

横尾小学校区のめざす将来像

「笑顔でつながる

オール
ALL横尾」



発行 横尾小学校区コミュニティ連絡協議会 (平成30年3月)

まちの
将来像

笑顔でつながる
ALL横尾

分野	今の課題・問題	分野別の将来像	将来像実現のために必要な取り組み	
			既存の取り組み (一部抜粋)	みんなで考える会 で出された意見 (一部抜粋)
事業統括	<ul style="list-style-type: none"> ・町の中の人にも十分に伝わっていない ・外部にPRできる特徴が少ない ・「内に向けて」と「外に向けて」の情報発信が必要 ・自治会、子ども会への加入が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○横尾だよ！全員集合 ・情報発信できるまち ・みんながまとまって一緒に行動できるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・鯉のぼりあげ ・横尾懇親会 ・横尾盆踊り ・横尾まつり ・学校だよりの発行 ・1000人ラジオ体操 	<ul style="list-style-type: none"> [外部に対する取り組み] ・横尾の魅力を伝える写真展の開催 ・ホームページを利用して情報発信する [内部に対する取り組み] ・広報部を創設し、広報誌を発行する ・高齢者へタブレットの使い方講座を開催する ・まちの将来像や様々なイベントの情報発信を積極的に行う ・自治会、子ども会への加入促進
子ども育成	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや若い世代の人口が減っていく ・地域活動に子育て世代のお父さん、お母さんの参加が少ない ・未就学児と小学生の親子同士の交流の場が少ない ・子どもから高齢者までが交流する場が少ない ・外国語大学との交流が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの笑顔があふれる魅力的なまち ○子どもは横尾のたからもの地域で見守る子育てのまち ○子どもの意見を大切にすまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもみこし ・もちつきマラソン大会 ・門松作り ・ウォークラリー大会 ・お遊び教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関わるいろいろな世代が学び、語り合う場所をつくる ・未就学児の親子が参加できる交流の場づくり ・学校等の中に多世代交流のサロンをつくる ・子ども寺子屋をつくる ・外国語大学や福祉施設との交流 ・人材マップの作成 ・子どもが中心となつての発表の場を設ける
安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> ・交通量が増えて交通事故等のリスクが増えた ・防犯、防災の意識を高める ・色々な世代のつながりをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ○みんなが安心して暮らせるまち ○子どもから高齢者まで笑顔で挨拶できるまち ○危険な箇所をみんなが知っているまち ○皆が助け合える「お互いさま」と言えるまち 横尾 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察署、消防署との連携 ・公園駐車場の管理 ・社会を明るくする集いの開催 ・高齢者見守りネットワーク活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全、防犯講習の実施 ・防災訓練の実施 ・防災マップの整備 ・空き教室を活用して交流の場をつくる
健康福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の人しか集まりに参加していない ・足腰の筋力低下で集まる場所に出ていけない人の見守りが必要 ・健康福祉に関する情報の周知不足 ・高齢者のニーズに合った活動の場をより充実させる ・高齢化率が年々高くなっている 	<ul style="list-style-type: none"> ○年を重ねても、車や免許がなくても、自由に外出・移動ができるまち ○情報伝達は一声かけながら。顔を合わせて呼びかけよう！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい・かたろう会 ・認知症サポーター養成講座 ・グラウンド・ゴルフ親善大会 ・ゲートボール大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・出てこない方への声かけ ・歩いて行ける場所に集まる場をつくる ・地域で競技大会、運動会など企画する ・高齢者の集いの場(健康体操、出前講座、映画鑑賞、食事会)をつくる
環境・歴史文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみのポイ捨てや雑草が多い ・ホテルの飛ぶ街になっていない ・イチョウ並木はキレイだけど清掃が大変 ・横尾地区でも「横尾だんじり」をあまり知らない人がいる ・横尾は農業中心に発展した町なので、使用されてきた農業の作業や器具を残していきたい ・昔の遊びをどうやって子供たちに引き継いでいくか 	<ul style="list-style-type: none"> ○美しいまち、落ち着いてぬくもりのあるまち ○学校や自治会が連携して若い人が主体になって伝統文化を伝える地域 	<ul style="list-style-type: none"> ・鬼火だき ・各公園の清掃 ・ONE-ONE運動(中学生による清掃活動) ・生ごみリサイクルの推進 ・横尾だんじり、昔あそび、田植え、稲刈りの実演指導 ・横尾の歴史を伝える(総合学習) 	<ul style="list-style-type: none"> ・花植え、お世話、清掃の役割分担により清掃のしきみをつくる ・小学校校門横ののり面、中学校の学びの道を花で飾る ・小中学校の周りに手作りのプランターを置く ・だんじりの写真を各家庭に配る ・「山車」をもっと見せよう ・テレビ、ホームページ等で横尾だんじりや昔あそびの動画を宣伝し興味を持ってもらう